2017 年度

一橋大学キャンパス内差別実態調査
報　告　書

2018 年 3 月発行

一橋大学大学院社会学研究科

キャンパス内差別実態調査ワーキング・グループ

１．調査実施までの背景

「社会学研究科キャンパス内差別実態調査ワーキング・グループ」（以下、調査ワーキング） は、2017 年 7 月 12 日の社会学研究科・学部教授会声明「すべての学生・教職員の人権が尊重されるキャンパス実現のために」に基づき、一橋大学のキャンパスにおける差別実態を明らかにし、学内の差別防止及び人権擁護にかかわる制度の見直しに資する資料を作成することを目的として設置された。

調査ワーキングの構成員は社会学研究科に所属する教員 4 名および院生 3 名である。2017 年 8 月の調査ワーキング会議において、本調査の目的を学内において多様な関係の中に生起する差別（性的および民族的差別）の実態把握に定め、調査票の設計にとりかかった。調査票は 9 月に完成し、関係各所の協力を得ながら、10 月から 11 月にかけて配布・回収を行った。調査票の集計作業は 12 月に行い、1 月には調査ワーキング会議において調査結果をメンバー間で共有した。

２．配布の方法と回収数

本調査は、2017 年度に一橋大学国立キャンパスに通学する学生（学部生 4,421 人、院生 1,721 人の計 6,142 人）を対象に実施した。調査票の配布は以下のような複数の方法を組み合わせて行った。

⑴ 各学部・研究科の教員用メーリングリストを通じて本調査の趣旨と実施について周知し、各教員のメールボックスに調査票を投函、担当するゼミでの調査票配布を依頼した。また、調査ワーキングの教員を通じて大授業を担当する教員にも可能な限り協力を依頼し、当該授業での調査票の配布を行った。

⑵ 国際学生宿舎、国際交流会館管理室の協力のもと、全寮生の郵便ポストに調査票を投函した。

⑶ 院生自治会の協力のもと、東キャンパスマーキュリータワー一階に調査票を据え置きした。

調査票の回収は、学内外各所（東西キャンパス教員控室、第一講義棟一階入り口、社会学研究科事務室前、マーキュリータワー一階、国際学生宿舎管理室前、国際交流会館管理室前）に回収ボックスを設置し、調査票を記入した本人、あるいは担当ゼミ・授業にて調査票を回収した教員に回答済みの調査票を投函してもらう方法をとった。

調査期間は 2017 年 10 月から 11 月末までの二か月間であり、これらの方法によって最終的に回収できた調査票の総数は 1,013 部、回収率は 16.5%であった。

３．調査結果の概観

―調査対象者の属性

表 1-1a：調査対象者の性別

	女性	男性	なし	実名記載	男／女	無回答
度数	369	635	1	1	1	6
%（n=1013）	36.4%	62.7%	0.1%	0.1%	0.1%	0.6%

表 1-1b：男女別回答率

	女性	男性
度数	369	635
学生数（2017年）	2266	3876
回答率（%）	16.3%	16.4%

表 1-1a のように、調査対象者の性別では「男性」が 62.7%と多く、「女性」が 36.4%であった。一方で、2017 年度在学生数から男女別の回答率を算出した表 1-1b を見ると、男性の回答率が 16.3%であるのに対して、女性の回答率は 16.4%となっており、男女ともに約 16%の回答率であるといえる。また、本調査では調査対象者の性別を尋ねるために自由記述用の空欄を設けたが、記述欄に「なし」、「男／女」と記述する者がいたほか、実名を記載するケースもみられた。無回答は 6 名（0.6%）であった。

表 1-2a：回答者の所属

	商学部	経済学部	法学部	社会学部
度数	108	169	91	376
%（n=744）	14.5%	22.7%	12.2%	50.5%

	商学研究科	経済学研究科	法学研究科	社会学研究科	言語社会研究科	国際・公共政策専門職大学院
度数	11	11	28	142	67	4
%（n=263）	4.2%	4.2%	10.6%	54.0%	25.5%	1.5%

調査対象者の所属をみると、学部では社会学部がもっとも多く（50.5%）、次いで経済学部（22.7%）、商学部（14.5%）とつづいた。大学院では、社会学研究科（54.0%）、言語社会研究科（25.5%）、法学研究科（10.6%）となっている。このことからわかるように、本調査の回答者は半数近くが社会学部・社会学研究科の学生である。

表 1-2c：所属別の回答率

	商学部	経済学部	法学部	社会学部	合計
度数	108	169	91	376	744
学生数（2017年）	1267	1242	796	1116	4421
回答率（%）	8.5%	13.6%	11.4%	33.7%	16.8%

	商学研究科	経済学研究科	法学研究科	社会学研究科	言語社会研究科	国際・公共政策専門職大学院
度数	11	11	28	142	67	4
学生数（2017年）	276	218	100	398	246	163
回答率（%）	4.0%	5.0%	28.0%	35.7%	27.2%	2.5%

また、回答者の所属（学部・研究科）ごとの回答率は表 1-2c のようになっており、学部においては社会学部（33.7%）、研究科においては社会学研究科（35.7%）の学生の回答率がもっとも高かった。調査方法の箇所でも述べたように、調査票の配布は主にゼミや大講義などの授業を通じて行われたこともあり、各学部・研究科の教員の協力に委ねられた部分が大きい。本調査は社会学研究科の正式なプロジェクトとして実施されており、そのことが社会学部・社会学研究科の回答率の高さに影響している可能性がある。

表 1- 3 a：回答者の在学資格

	非留学生	留学生
度数	891	119
%（n=1010）	88.2%	11.8%

表 1-3b：在学資格別回答率

	非留学生	留学生
度数	891	119
学生数（2017）	5369	773
回答率（%）	16.6%	15.4%

在学資格の割合は、非留学生が 88.2%、留学生が 11.8%と、回答者の大半が非留学生であった。また、在学資格別の回答率を算出した表 1-3b を見ると、非留学生の 16.6%、留学生の 15.4%が本調査に回答しており、留学生よりも非留学生の回答率が若干高かった。

また、回答者の国籍は次表 1-4 のとおりである。

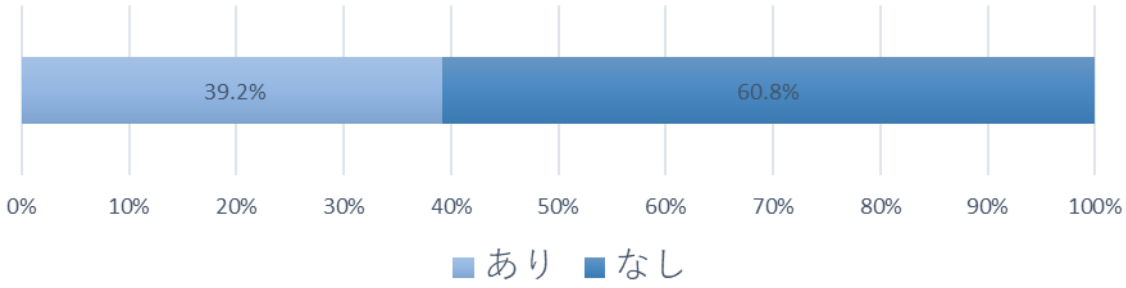
表 1-4：回答者の国籍

	日本	中国	韓国	※その他
度数	885	65	22	28
%（n=1000）	88.5%	6.5%	2.2%	2.8%

※回答者の特定を防ぐ意図から、回答数の少ない国籍については「その他」にまとめた

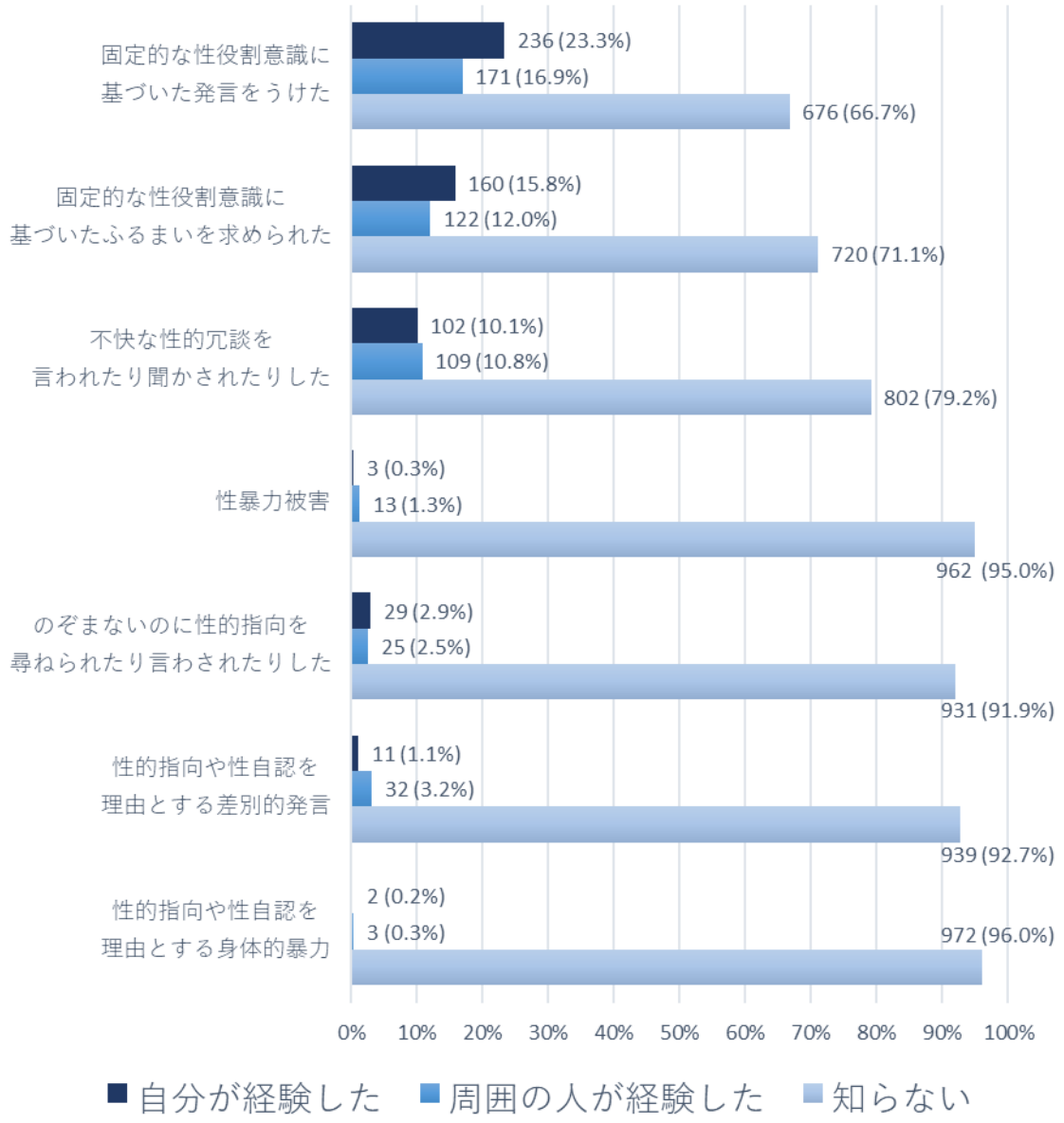
―学内での被差別ハラスメント経験の状況

図 2-1：学内での被差別・ハラスメント経験



つぎに、調査対象者の学内での被差別・ハラスメント経験についてみていく。ジェンダー、性に関する被差別・ハラスメント経験について 19 項目で訊ねた問 5-1 および人種、エスニシティに関する被差別・ハラスメント経験について 15 項目で訊ねた問 5-2 の各項目において、ひとつでも「自分自身が経験した」と回答した者の数を示す結果が図 2-1 である。ここから、回答者の四割近く（39.2%）が学内でなんらかの差別、ハラスメントを経験していることがわかる。

図 2-2：ジェンダー、性に関する被差別・ハラスメント経験（複数回答 *n*=1013）



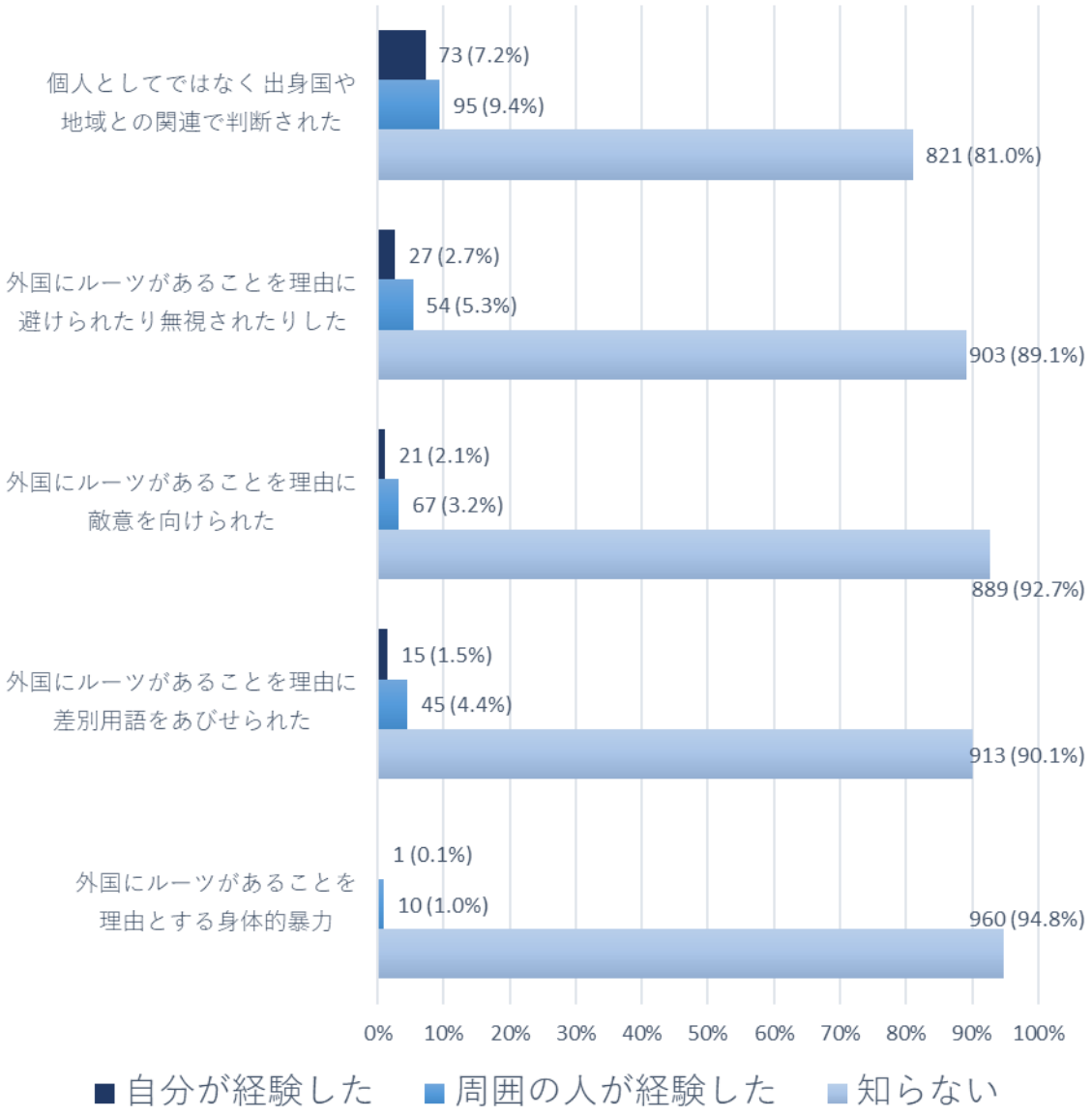
被差別・ハラスメントの具体的な内容について[1]、問 5-1 の設問中で「自分自身が経験した」と回答した者が多かったものの上位三つを示すと、最も多かったのは「固定的な性役割意識に基づいた発言をうけた（「男なら～」、「女らしく～」、「男にしては～」、「女だから～」など）」の 236 名（回答者全体の 23.3%）、次いで「固定的な性役割意識に基づいたふるまいを求められた（「飲み会 でビールを注ぐことを求められる」「力仕事を求められる」など）」の 160 名（15.8%）、「不快な性的冗談を言われたり聞かされたりした」の 102 名（10.1%）

[1] 紙幅の都合上紹介しきれない問 5-1、問 5-2 のその他の各項目における被差別・ハラスメント経験については、付録の単純集計表を参照されたい。

であった。上位二つはいずれも性役割意識に基づいた経験であり、学内でこうした意識が広く浸透していることをうかがわせる。

とりわけ深刻だと思われる結果について述べると、自分自身が「性暴力の被害にあった」と回答した者が 3 名確認された。これは昨今、他大学でも大きな問題として取り上げられている性暴力事件が、本学においても発生していることを示す結果である。また、性的指向のアウティングと関連し、「のぞまないのに性的指向を尋ねられたり言わされたりした」と回答する者が 29 名いた。さらに、「性的指向や性自認を理由に差別的発言をされた」という者が 11 名、「性的指向や性自認を理由に身体的暴力をふるわれた」という者が 2 名おり、先述した性暴力被害に加え、性を理由に学生が直接的な攻撃を受けるケースも確認できる。

図 2-3：人種、エスニシティに関する被差別・ハラスメント経験（複数回答 n=1013）



問 5-2 の設問は人種、エスニシティに関する被差別・ハラスメント経験を尋ねるものであるが、日本国外に出自を持つ留学生のみではなく、非留学生、つまり「日本人」学生も回答の対象者となっていることには注意が必要である。問 5-2 の設問中において最も「自分自身が経験した」と回答した人数が多かったのは、「「あなたは〇〇人だから～～」など、自分を個人としてではなく 出身国や地域との関連で判断された」の 73 名（回答者全体の 7.2%）であり、次いで「外国にルーツがあることを理由に避けられたり無視されたりした」の 27 名（2.7%）、「外国にルーツがあることを理由に敵意を向けられた」の 21 名（2.1%）であった。また、問 5-1 同様、問 5-2 においても、「外国にルーツがあることを理由に差別用語をあびせられた」(15 人)、「外国にルーツがあることを理由に身体的暴力をふるわれた」(1 人）というように、差別発言や物理的暴力といった被害が確認できた。

表 2-4：行為者ごとの差別・ハラスメント件数

	教員	学生	職員	その他
度数	397	2053	99	196
%（n=2745）	14.5%	74.8%	3.6%	7.1%

本調査では回答者が「だれから」「どのような状況で」差別・ハラスメントを受けたのかについても合わせて訊ねた。「自分自身が経験した」か「周囲の人が経験したか」にかかわらず、回答として報告された差別・ハラスメントの総件数を数え上げ、それが何者によって行われたかの割合をまとめた結果が表 2-4 である[2]。これをみると、総件数 2745 件のうち 74.8%は「学生から」行われており、学内の差別・ハラスメントは主に学生同士の関係において発生していることがわかる。また、教員による差別・ハラスメントも全体の 14.5%と少なくない割合を占めている。

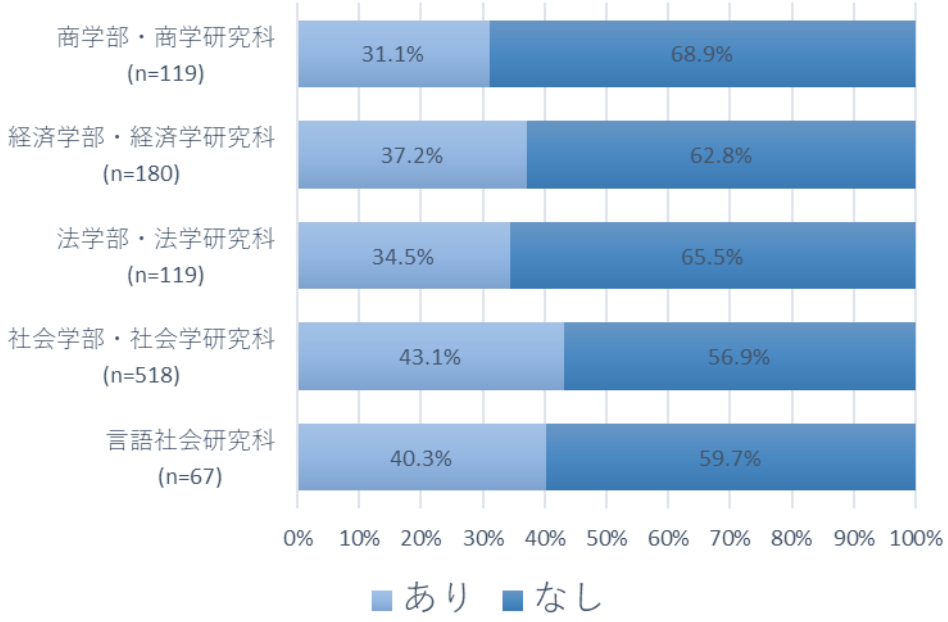
表 2-5：状況ごとの差別・ハラスメント件数（一部複数回答）

	ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
度数	349	53	761	754	72	292	464	2745
%（n=2745）	12.7%	1.9%	27.7%	27.5%	2.6%	10.6%	16.9%	100.0%

同じように、差別・ハラスメントが「どのような状況で」発生したのか、その件数をまとめた表が表 2-5 である。最も差別・ハラスメントが多く発生している状況は「学生団体やサークル活動中」（27.7%）であり、ついで「飲み会中」（27.5%）、「その他」（16.9%）となっている。「ゼミや講義などの授業中」の差別・ハラスメント件数も少なくなく（12.7%）、教員が監督するフォーマルな場面においてもこうした事態が発生していることがわかる。

[2] 各設問の「行為者」と「状況」のクロス表は付録を参照。

図 2-6：所属と被差別・ハラスメント経験の有無のクロス表



つぎに、どのような者が差別・ハラスメントを受けやすい傾向にあるのか、属性との関連をみていきたい。

図 2-1 で示した学内での被差別・ハラスメント経験の有無と回答者の所属との関連を示したものが図 2-6 である。この図をみると、社会学部・社会学研究科および言語社会研究科に属する回答者の差別・ハラスメント経験をした割合が相対的に高くなっていることがわかる。これは、ジェンダーやセクシュアリティ、人種、エスニシティを扱う授業が多く開講される社会学部・社会学研究科や言語社会研究科での教育歴が、特定の経験を差別・ハラスメントだと認知するためのフレームの形成を助けるためだと思われる。

図 2-7：性別とジェンダー、性に関する被差別・ハラスメント経験のクロス表

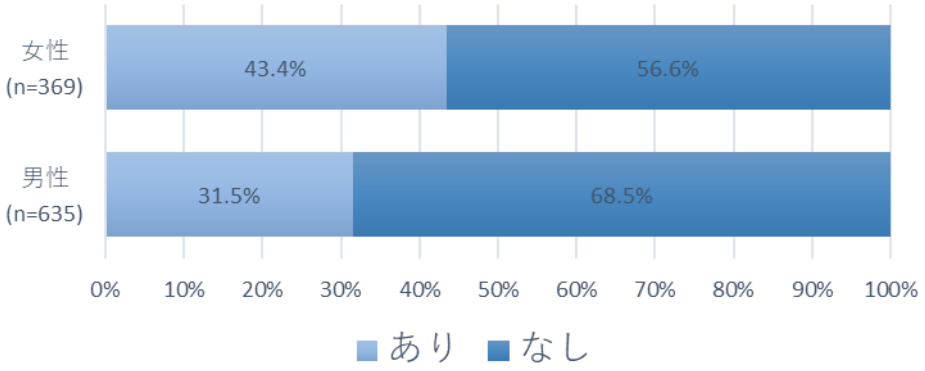
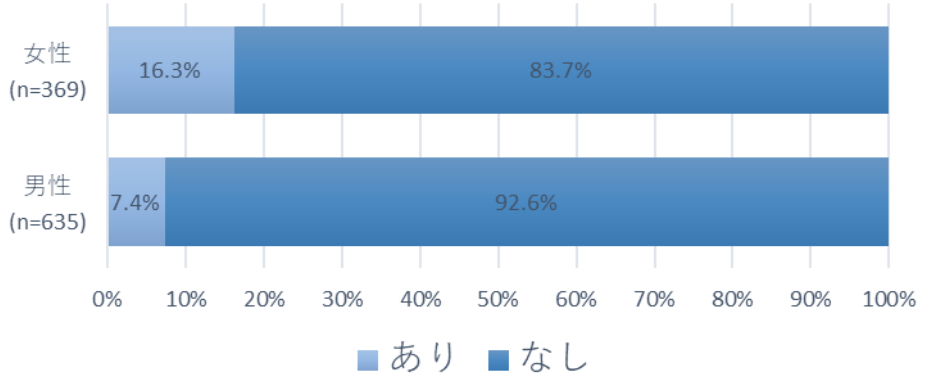


図 2-8：性別と人種、エスニシティに関する被差別・ハラスメント経験のクロス表



性別とジェンダー、セクシュアリティに関する差別・ハラスメント経験[3]の関連をみると、男性の 31.5%、女性の 43.4%がこのような経験をしており、女性の方が学内でジェンダーや性に関する差別・ハラスメントを経験する割合が高い（図 2-7）[4]。また、男女別の分析では、人種、エスニシティに関する差別・ハラスメント[5]でも、男性（7.4%）より女性（16.3%）の方が経験する割合が高くなっており（図 2-8）[6]、女性の方が自身の人種やエスニシティを理由とした差別・ハラスメントを受けやすいといえる。

---

[3] 問 5-1 の各設問において、ひとつでも「自分自身が経験した」と回答した者をジェンダー、セクシュアリティに関する被差別・ハラスメント経験「あり」とみなした。

[4] $\chi 2= 18.87$, df=2, p<.001

[5] 問 5-2 の各設問において、ひとつでも「自分自身が経験した」と回答した者をジェンダー、セクシュアリティに関する被差別・ハラスメント経験「あり」とみなした。

[6] $\chi 2= 19.24$, df=2, p<.001

図 2-9：在学資格と人種、エスニシティに関する被差別・ハラスメント経験のクロス表

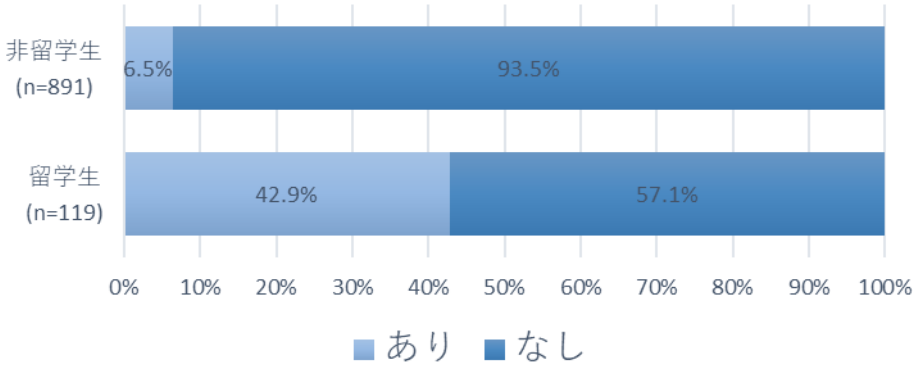
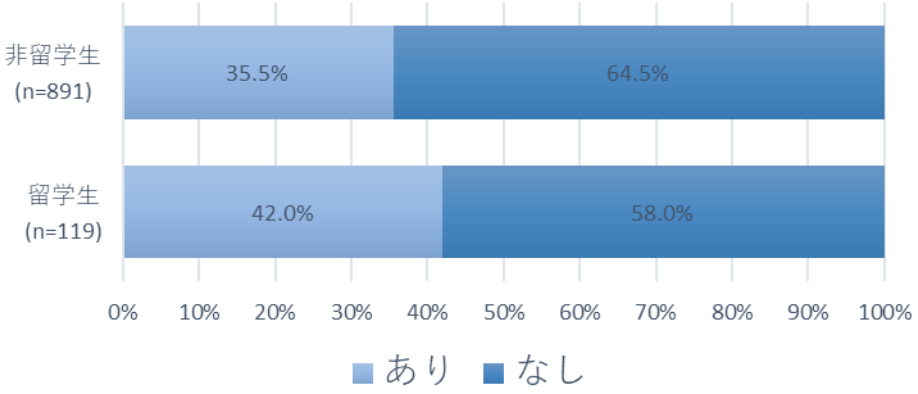


図 2-10：在学資格とジェンダー、性に関する被差別・ハラスメント経験のクロス表



在学資格と差別・ハラスメント経験の関連では、非留学生（6.5%）よりも留学生（42.9%）の方が人種、エスニシティを理由に差別・ハラスメントを受ける割合が格段に高くなっており（図 2-9）[7]、非留学生（「日本人」学生）が自身の人種やエスニシティを理由とした差別・ハラスメントをほとんど受けていない一方で、留学生の四割以上が学内で人種、エスニシティを理由とした差別・ハラスメントを受けているという学内での経験の格差を示す結果が得られた。ジェンダー、性に関する差別・ハラスメントを経験した割合に関しても、留学生は非留学生よりも若干高い割合になっており（図 2-10）[8]、外国に出自をもつ留学生の方が、ジェンダー、性を理由に差別・ハラスメントを受ける傾向にあるといえる。

---

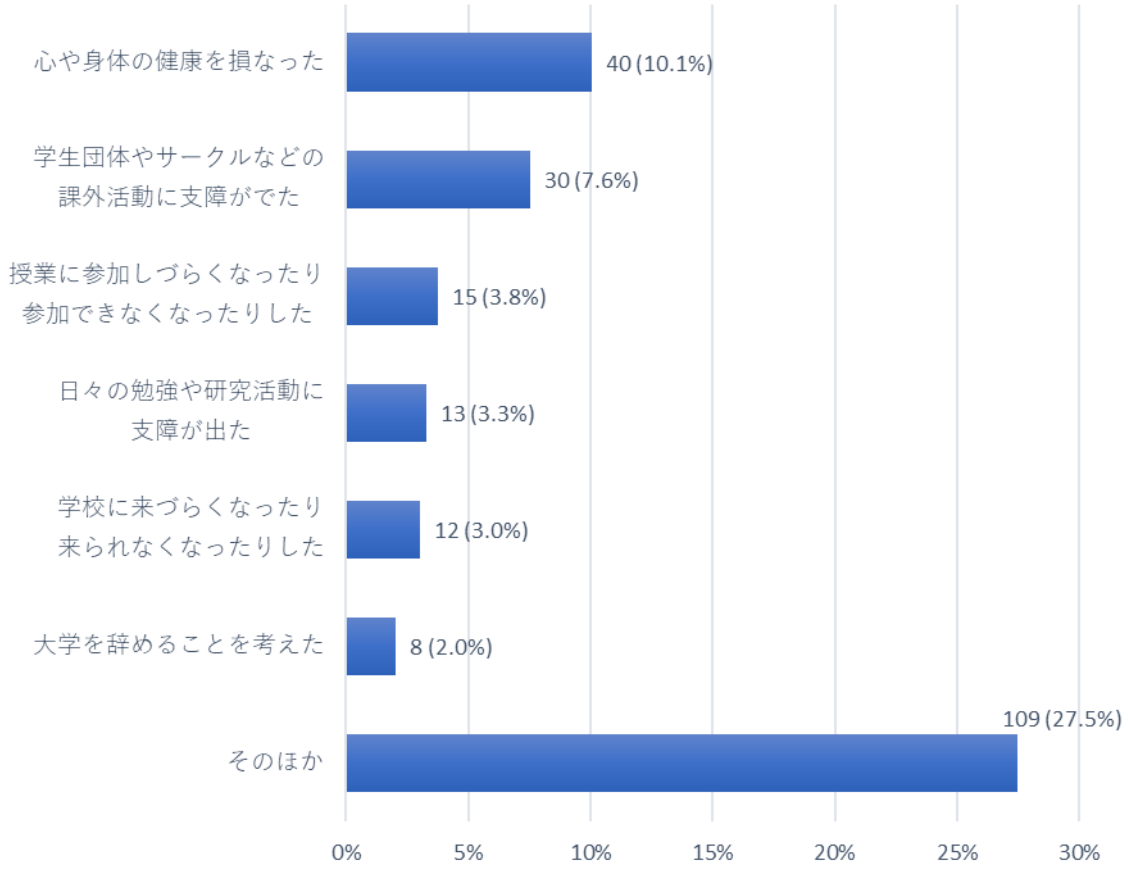
[7] $\chi 2= 164.44$, df=2, $p<.001$

[8] ただし、留学生と非留学生間でのジェンダー、セクシュアリティに関する差別経験率に有意差は認められなかった（$p>0.05$）

―差別・ハラスメントの影響と対処

つぎに、問 5-1、問 5-2 の各設問においてひとつでも「自分自身が経験した」と回答した 397 名を対象に、差別・ハラスメントを受けたことで生じた影響や、そのときどういう対処をとったのかを訊ねた問 6 以降の結果をみていきたい。

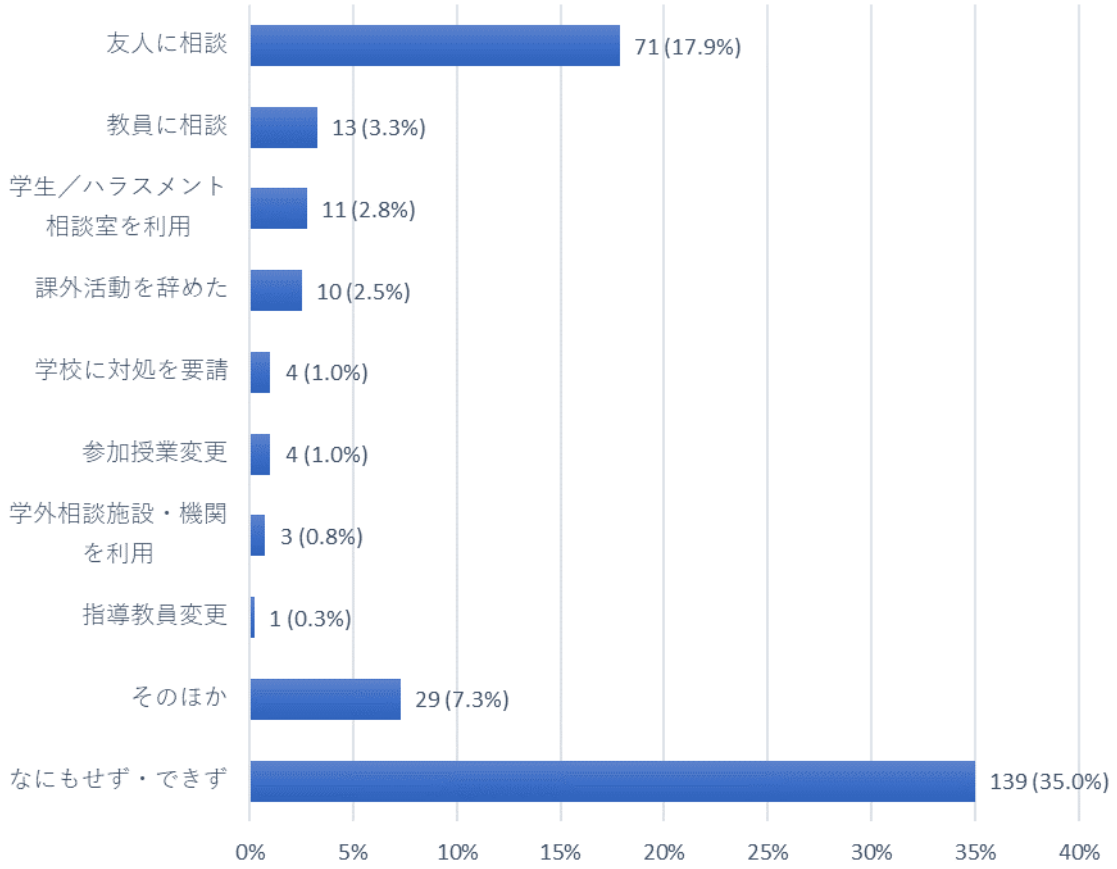
図 3-1：差別・ハラスメントの影響（複数回答 *n*=397）



差別・ハラスメントの影響として最も多かった回答は「そのほか」（109 名）であり[9]、「心や身体の健康を損なった」（40 名）、「学生団体やサークルなどの課外活動に支障がでた」（30 名）とする回答がつづいた。「授業に参加しづらくなったり参加できなくなったりした」（15 名）、「学校に来づらくなったり来られなくなったりした」（12 名）、「大学を辞めることを考えた」（8 名）という回答も一定数みられ、差別・ハラスメントが大学生活の継続に直接的な影響を与えている結果も確認できる。

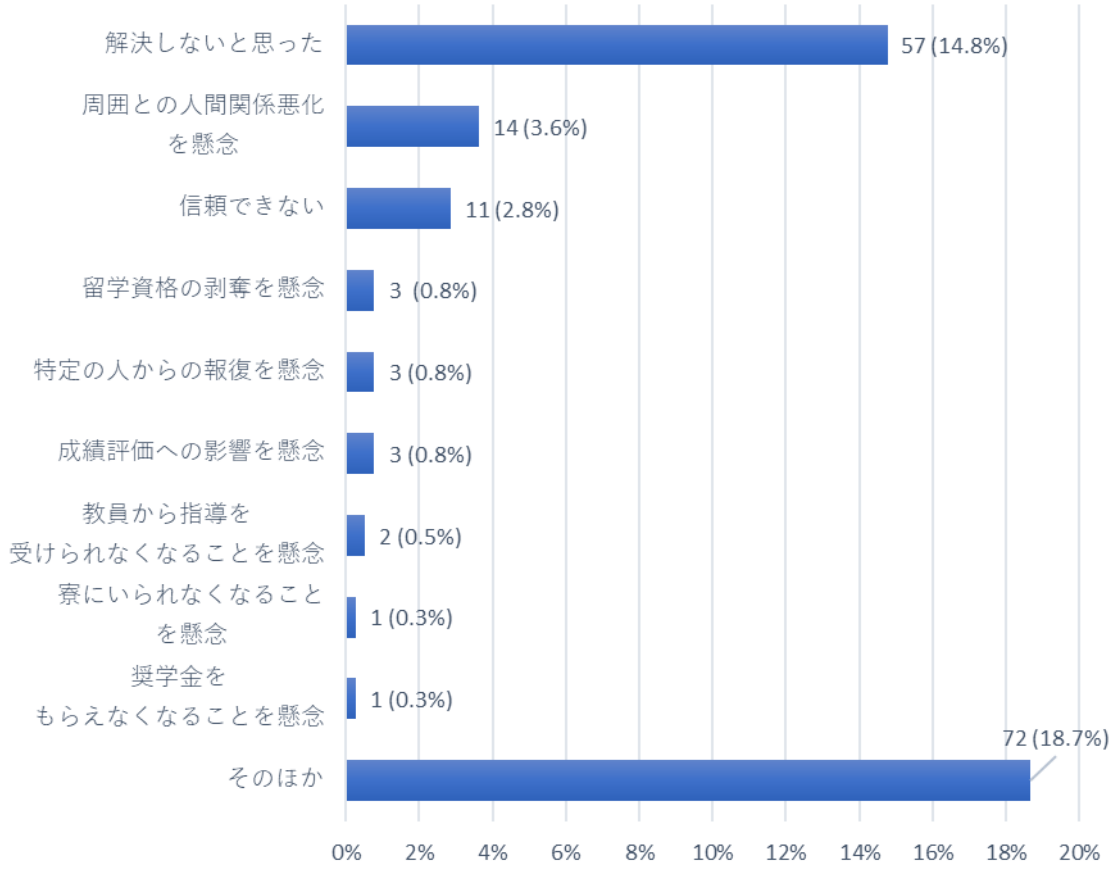
[9] 問 6-1 の「そのほか」の選択肢に用意した自由記述欄をコーディングした結果、「気にしない、特にない」とする旨の記述が 50 件、「心理的影響」が 23 件、「課外活動への影響」が 3 件、「周囲の人との関係性の悪化」が 3 件、「日本に対するイメージの悪化」が 2 件となった。自由記述の具体的な文面については付録 p.43 を参照されたい。

図 3-2：差別・ハラスメントへの対処（複数回答 *n*=397）



差別・ハラスメントの対処では、「なにもしなかった（できなかった）」（139 名）が最も多く、その後に「友人に相談した」（71 名）、「教員に相談した」（13 名）という回答がつづいた。「学生相談室やハラスメント相談室を利用した者」は 11 名（2.8%）、「学校になんらかの対処を求めた」者は 4 名（0.8%）と、差別・ハラスメントに対して、こうした公的機関・制度を通じた対処はほとんどとられていないことがわかる。

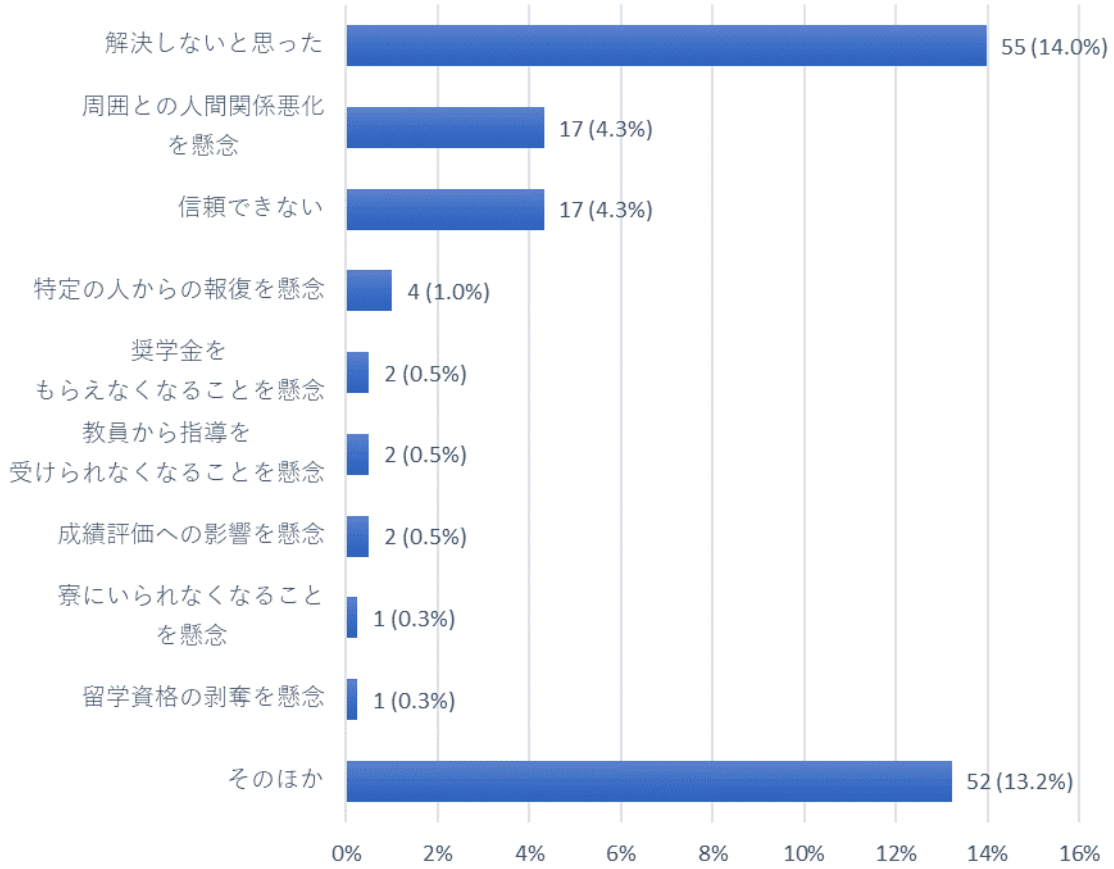
図 3-3：学生／ハラスメント相談室を利用しなかった理由（複数回答 *n*=386）



回答者が学生／ハラスメント相談室を通じた対処をしなかった理由についてまとめたものが表 3-3 である。もっとも多かった回答としては、「そのほか」（72 名）であり[10]、そのあとに「解決しないと思ったから」（57 名）、「周囲の人との信頼関係が悪くなるのをおそれたから」（14 名）がつづいた。

[10] 「そのほか」の自由記述欄にあった記述については付録 p.45 を参照。

図 3-4：学校に対処を求めなかった理由（複数回答 *n*=393）

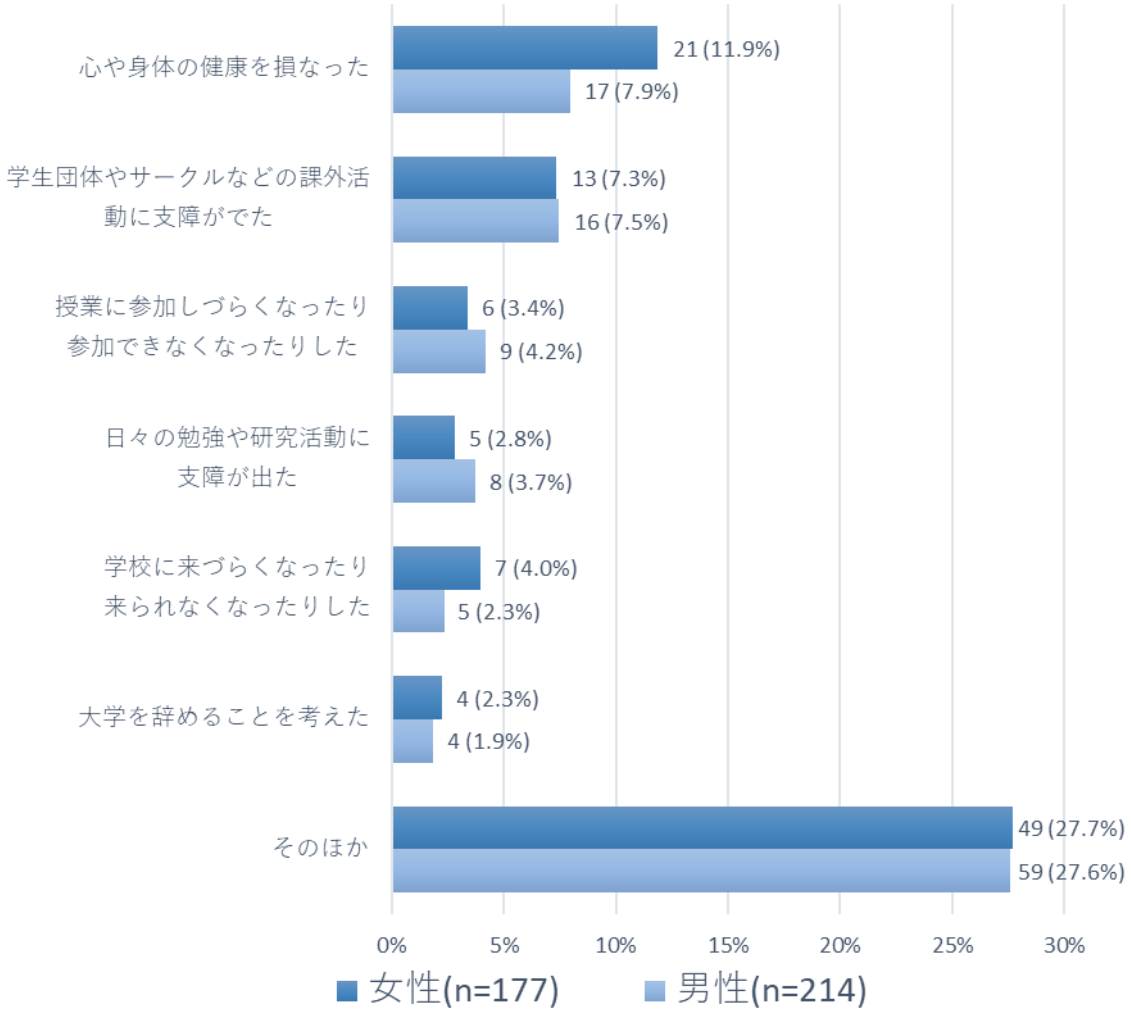


同様に、学校に差別・ハラスメントの対処を求めなかった理由（表 3-4）としていちばん多かった回答は「解決しないと思ったから」（57 名）であり、そのあとに「そのほか」（52 名）[11]、「周囲の人との信頼関係が悪くなるのをおそれたから」（17 名）・「学校の対応が信頼できなかったから」（17 名）という回答がつづき、学内の相談室を利用しない理由と同様の回答傾向がみられた。

いずれも「解決しないと思ったから」という回答が際立つ表 3-3、表 3-4 の結果は、相談室の利用や学校への申し立てという対処方法では差別・ハラスメント問題を解決に導くことができないと回答者が考えていることを示しており、学校が学生に対して差別被害解決への道筋を提示できていない現状を示しているといえる。

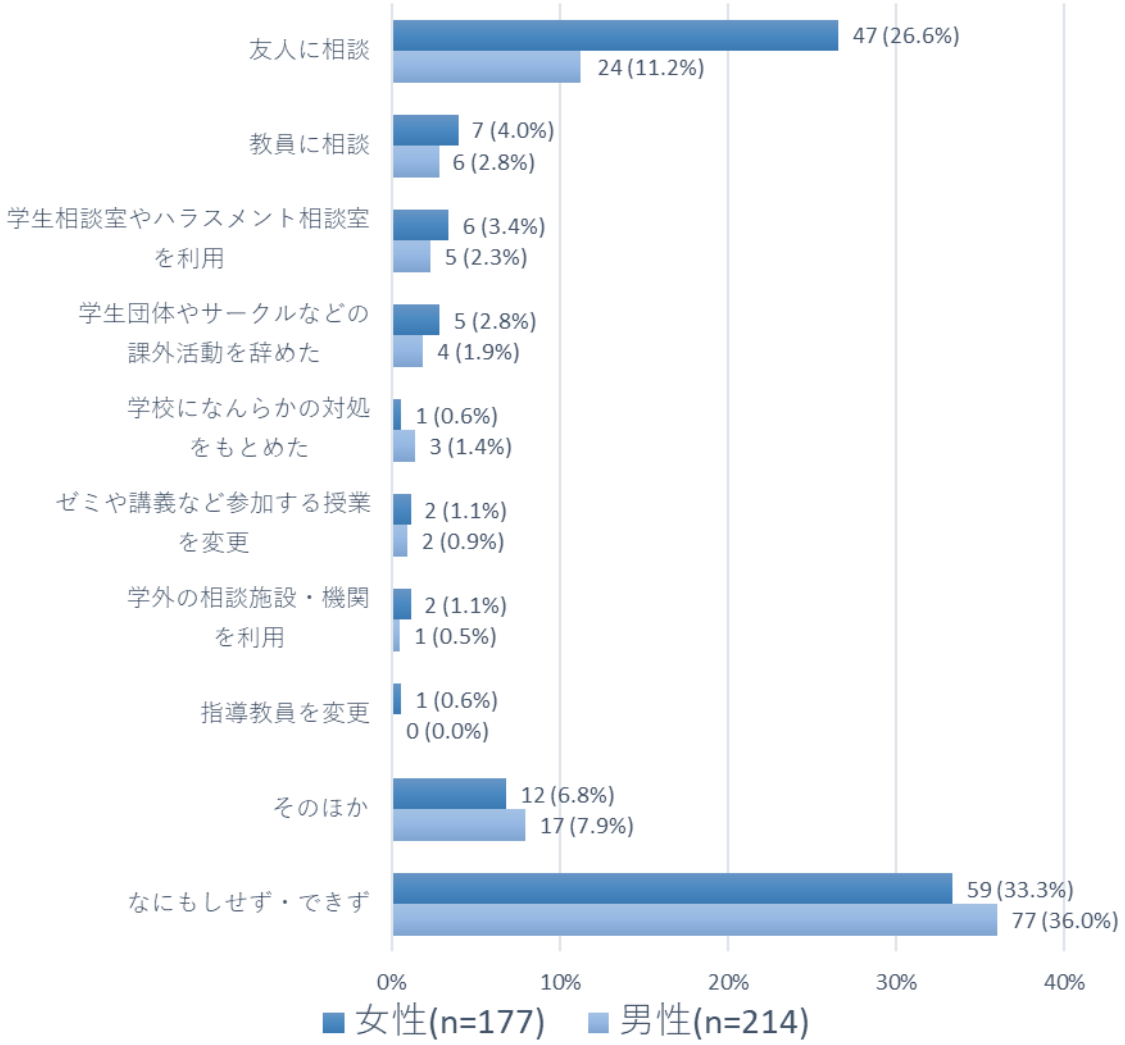
[11] 自由記述については付録 p.46 を参照。このうち、「特に気にならなかったから」という旨の記述が 36 件、「自力で対処できたから」という旨の記述が 6 件確認されたことを述べておく。

図 3-5：性別と差別・ハラスメントによる影響のクロス表



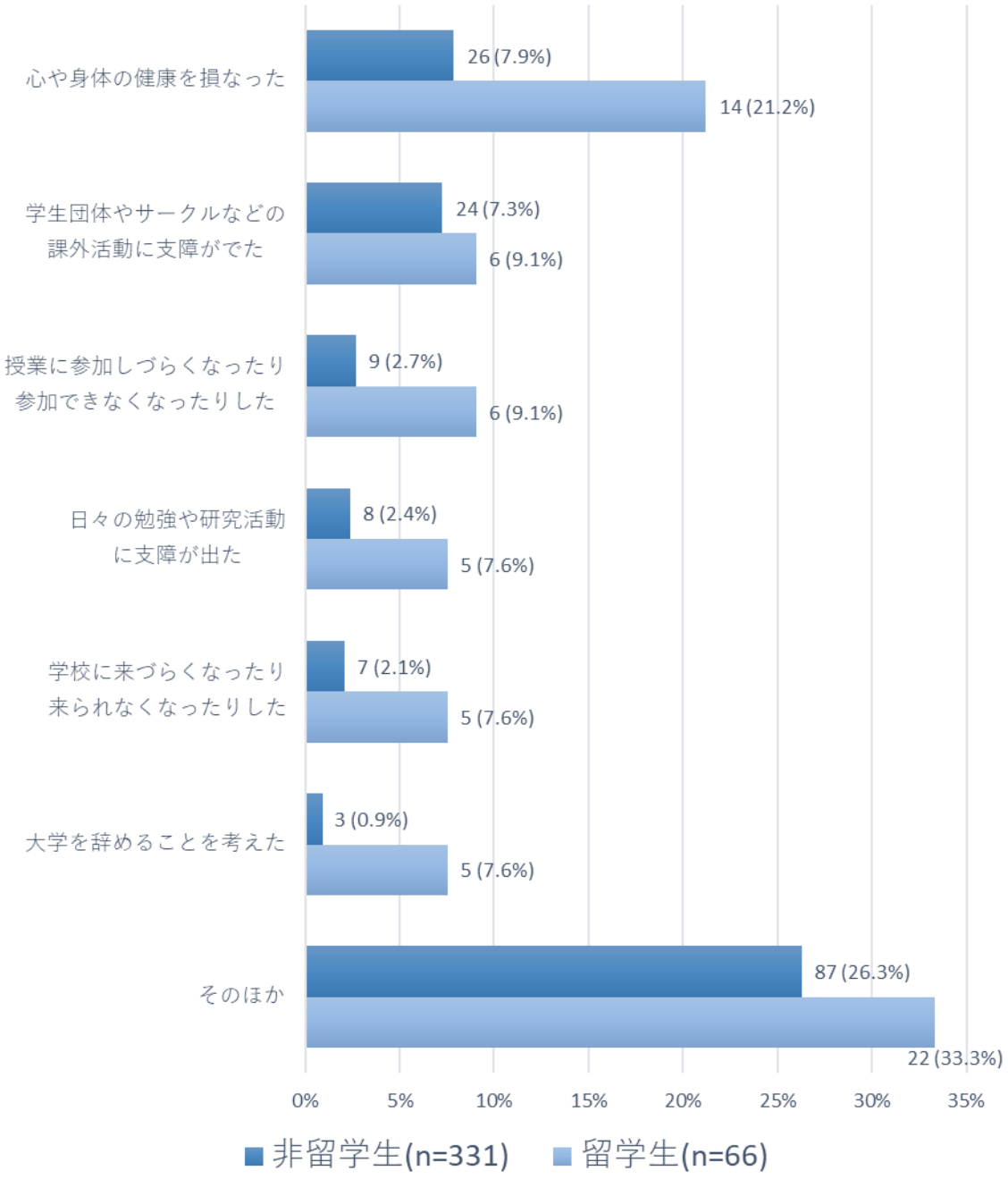
回答者の属性と問 6 との関連についてもみてみると、男女別の差別・ハラスメントの影響では、女性の方が「心や身体の健康を損なった」、「大学を辞めることを考えた」、「学校に来づらくなったり来られなくなったりした」と回答した者の割合が高く、それ以外の選択肢（「日々の勉強や研究活動に支障が出た」、「学生団体やサークル活動などの課外活動に支障が出た」、「授業に参加しづらくなったりできなくなったりした」）では男性の方の割合が高い（図 3-5）。

図 3-6：性別と差別・ハラスメントへの対処のクロス表



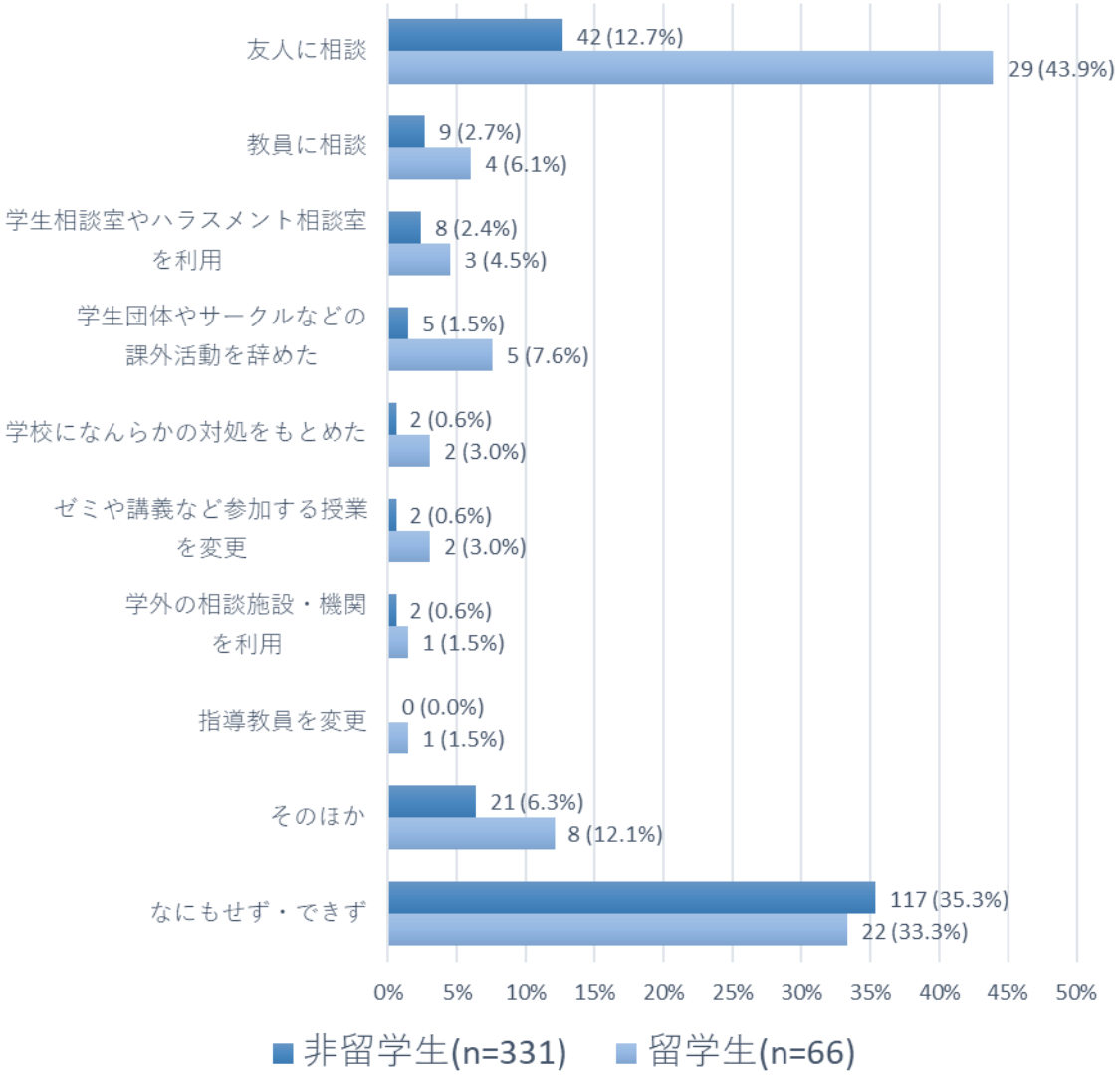
性別と差別・ハラスメントへの対処の関連では、「友人に相談した」という回答において、男女間の割合に顕著な差異がみられた（女性 26.6%、男性 11.2%）が、それ以外の選択肢では大きな差はみられなかった（図 3-6）。

図 3-7：在学資格と差別・ハラスメントによる影響のクロス表



在学資格と問 6 との関連についてもみてみると、差別・ハラスメントの影響に関し、すべての選択肢において留学生は非留学生よりもチェックをつける割合が高くなっている。なかでも「心や身体の健康を損なった」という選択肢では、学内で差別・ハラスメントを経験した留学生の二割以上が該当すると回答をしており、不安定な立場にたちやすく、差別・ハラスメントの影響をより受けやすい留学生の状況を示す結果が確認できる（図 3-7）。

図 3-8：在学資格と差別・ハラスメントへの対処



さらに、学内で差別・ハラスメントを経験した留学生の四割近く（43.9%）が「友人に相談する」ことで対処を図っており、この割合は非留学生よりも三倍以上高いものになっている。全体的な傾向として、差別・ハラスメントに対し、非留学生（「日本人」学生）は留学生よりも特定の対処をとらない傾向にあることも指摘できよう。(図 3-8)。

図 3-9a：在学資格と学生／ハラスメント相談室を利用しなかった理由のクロス表

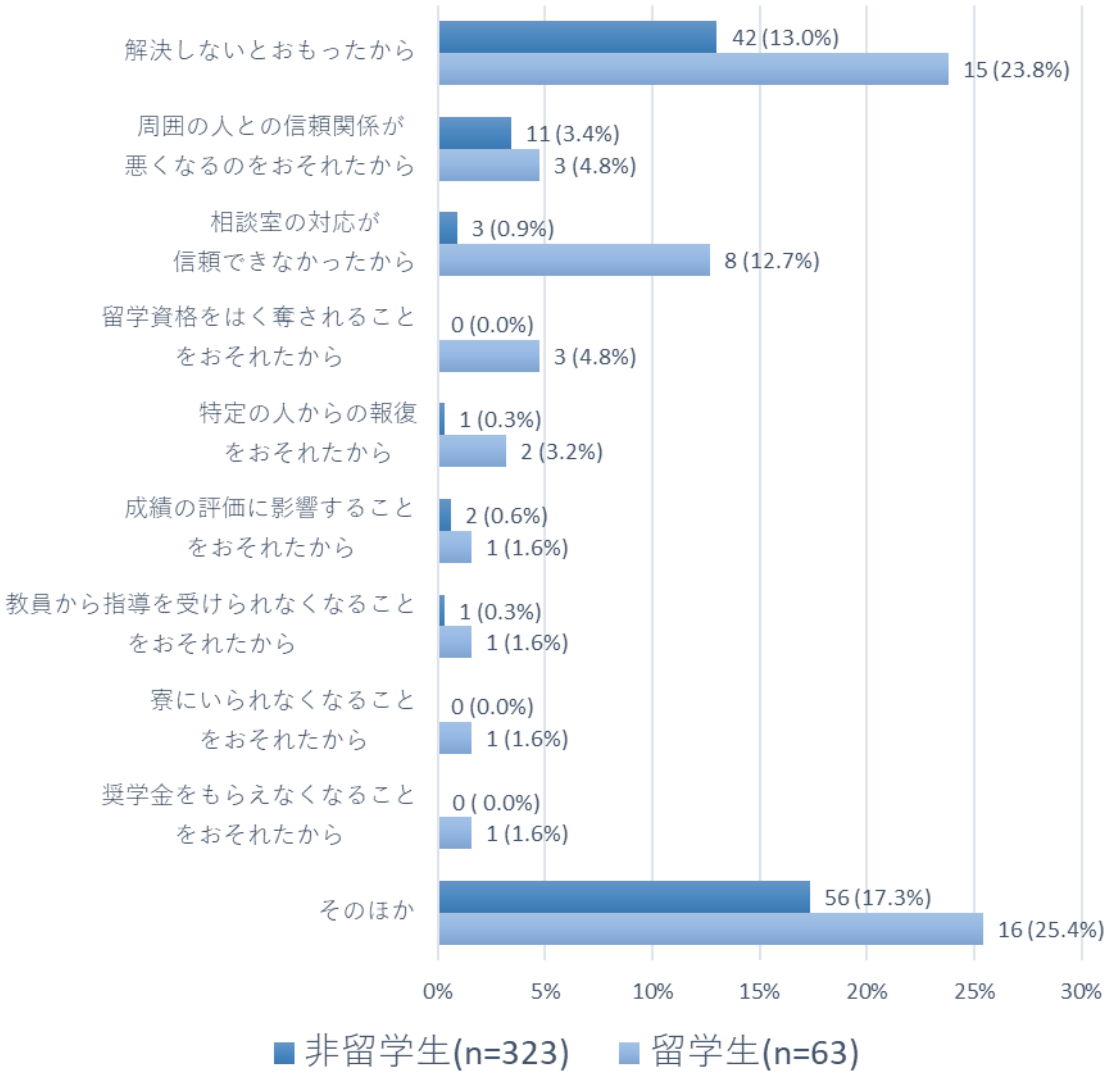
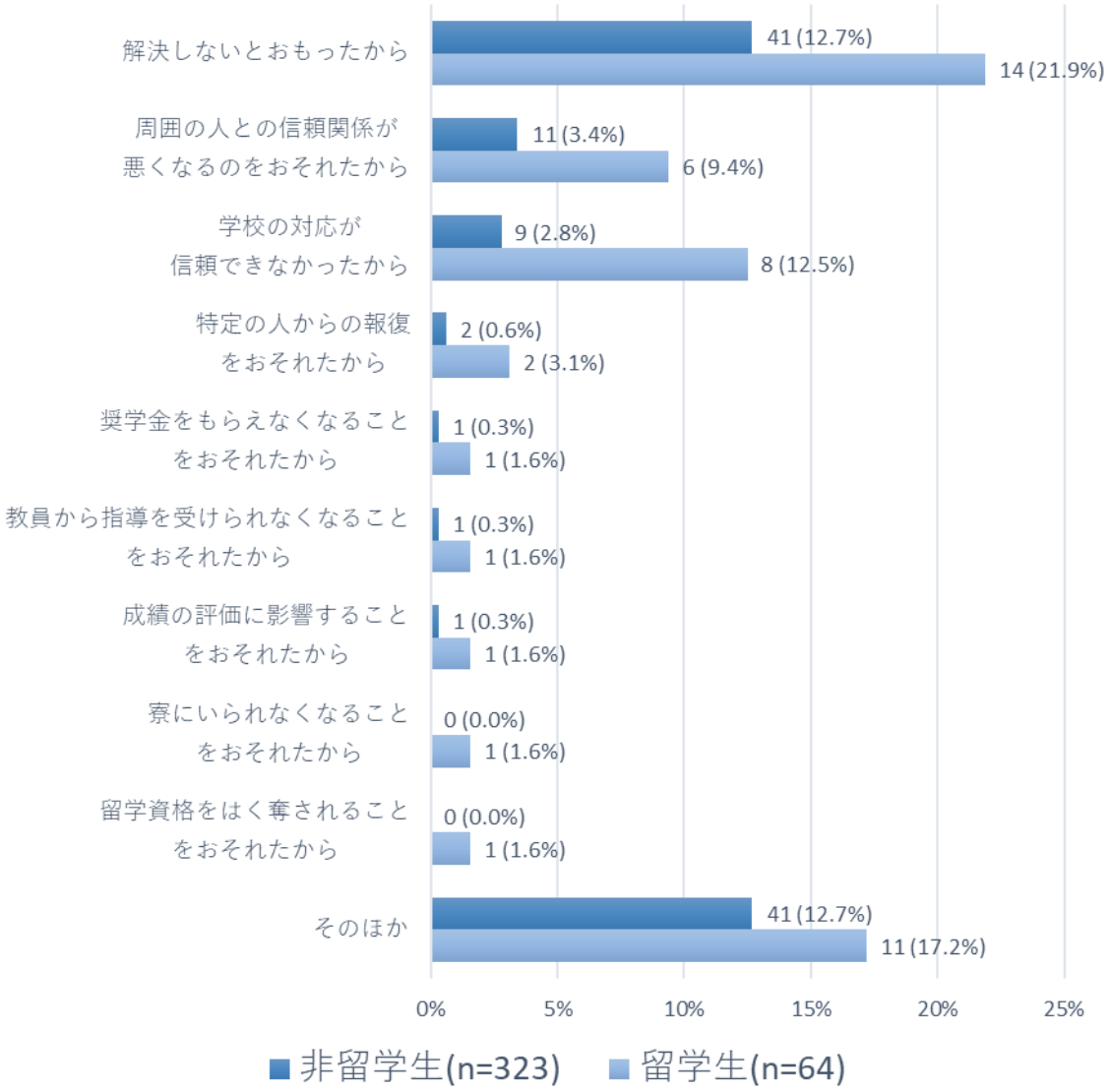


図 3-9b：在学資格と学校に対処をもとめなかった理由のクロス表



学内相談室の利用および学校への対処の要請をしない理由を留学生／非留学生間で比較した表が上の図 3-9a、図 3-9b である。これら二つの表をみると、留学生特有の理由に言及した選択肢を除いたとしても、すべての選択肢において留学生は非留学生よりもチェックをつける割合が高くなっている。とりわけ、学内相談室や学校の対応を「信頼できない」と感じている割合は非留学生よりも目立って高い。

４．まとめ

本調査によって明らかになった知見のうち、主要なものは以下のようにまとめられる。

⑴　回答者の四割近くが学内でなんらかの差別・ハラスメントを経験している。差別・ハラスメントの形態として多いものは性役割意識にもとづく発言、ふるまいの要求や、人種、エスニシティにもとづくステレオタイピングである。回答数として少数ではあるが、より深刻なものとして性や人種、エスニシティを理由とした差別発言、身体的暴力のほか、性暴力の被害も確認された。

⑵　学内の差別・ハラスメントは主に学生同士の関係において発生しているが、教員による差別・ハラスメントも少なくない。差別・ハラスメントは飲み会やサークル活動中での発生件数が多いが、ゼミや講義などの授業中といったフォーマルな状況においても一定数発生している。

⑶　社会学部・社会学研究科および言語社会研究科に属する回答者は、学内で差別・ハラスメントを経験したと回答する割合が他の学部・研究科にくらべて高い。また、男性よりも女性の方が学内で差別・ハラスメントを経験する割合が高く、非留学生よりも留学生の方が差別・ハラスメントを受けやすい。留学生に関していえば、四割以上の者が自身の人種・エスニシティを理由とした差別・ハラスメントを経験しており、非留学生とのあいだに大きな経験の格差がみられた。

⑷　差別・ハラスメントによる影響をとくにないとする旨の自由記述が一定数みられた一方で、心や身体の健康への被害、課外活動や授業参加への支障のほか、差別・ハラスメントによって安心した学校生活がおびやかされるような事態まで発生している。

⑸　差別・ハラスメントへの対処について、「なにもしなかった（できなかった）」とする回答がもっとも多かった一方で、友人に相談することで対処をはかるケースも一定確認された。学生／ハラスメント相談室の利用率は低く、学校への対処要請もほとんど行われていないが、その理由としては「解決しないと思ったから」というものが最も多かった。

⑹　留学生は非留学生よりも差別・ハラスメントの影響を受けやすく、差別・ハラスメントに遭遇した際、四割以上の者は友人に相談することで対処をはかっている。一方、学内相談室や学校といった公的な機関・制度を通じた対処は、それらへの信頼のなさを主な背景にほとんどとられていない。

５．付録

資料１．単純集計結果（本文中で言及されたものは除く）

問１．回答者の課程と学年

		1	2	3	4	5	6	8	合計
学部	度数	120	133	242	222	3	0	0	720
	%	12.3%	13.6%	24.8%	22.7%	0.3%	0.0%	0.0%	73.8%
修士	度数	95	59	8	0	0	0	0	162
	%	9.7%	6.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.6%
博士	度数	29	23	24	9	3	1	1	90
	%	3.0%	2.4%	2.5%	0.9%	0.3%	0.1%	0.1%	9.2%
その他	度数	2	1	1	0	0	0	0	4
	%	0.2%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%
	合計	246	216	275	231	6	1	1	976
		25.2%	22.1%	28.2%	23.7%	0.6%	0.1%	0.1%	100.0%

問 3. 日本語会話力

	まったくできない	ゆっくり短い会話ができる	日常会話に不自由しない	幅広いニュースについて議論できる	母語同様に話せる	日本語が母語である
度数	6	6	23	72	23	875
%(n=1005	0.6%	0.6%	2.3%	7.2%	2.3%	87.1%

問 4-a. 留学生以外の方にお聞きします。あなたは外国人留学生とどれくらいの付き合いがありますか。場面ごとに 5 段階で評価し、あてはまる番号に〇をつけてください。

		まったくない	ほとんどない	月に1,2回程度	週に1,2回程度	ほぼ毎日
授業	度数	271	166	53	275	33
	%(n=798)	34.0%	20.8%	6.6%	34.5%	4.1%
授業以外学内	度数	308	222	98	122	47
	%(n=797)	38.6%	27.9%	12.3%	15.3%	5.9%
学外	度数	413	221	87	46	26
	%(n=793)	40.8%	21.8%	8.6%	4.5%	2.6%

問 4-b. 留学生の方にお聞きします。あなたは日本人学生とどれくらいの付き合いがありますか。場面ごとに 5 段階で評価し、あてはまる番号に〇をつけてください。

		まったくない	ほとんどない	月に1,2回程度	週に1,2回程度	ほぼ毎日
授業	度数	5	4	7	62	36
	%(*n*=119)	4.2%	3.4%	5.9%	52.1%	30.3%
授業以外学内	度数	7	28	21	33	24
	%(*n*=119)	5.9%	23.5%	17.6%	27.7%	20.2%
学外	度数	9	28	30	27	17
	%(*n*=119)	7.6%	23.5%	25.2%	22.7%	14.3%

問 5-1-1. 固定的な性役割意識に基づいた発言をうけた（「男なら～」、「女らしく～」、「男にしては～」、「女だから～」など）[12]

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	236	171	676
%(*n*=1013)	23.3%	16.9%	66.7%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	42	4	7	21	2	4	9	89
	%	7.3%	0.7%	1.2%	3.7%	0.3%	0.7%	1.6%	15.5%
学生から	度数	33	4	140	147	11	50	44	429
	%	5.7%	0.7%	24.4%	25.6%	1.9%	8.7%	7.7%	74.7%
職員から	度数	1	0	2	3	0	0	11	17
	%	0.2%	0.0%	0.3%	0.5%	0.0%	0.0%	1.9%	3.0%
その他から	度数	0	0	12	11	0	1	15	39
	%	0.0%	0.0%	2.1%	1.9%	0.0%	0.2%	2.6%	6.8%
合計	度数	76	8	161	182	13	55	79	574
	%	13.2%	1.4%	28.0%	31.7%	2.3%	9.6%	13.8%	100.0%

問 5-1-2. 固定的な性役割意識に基づいたふるまいを求められた（「飲み会でビールを注ぐことを求められる」「力仕事を求められる」など

[12] 「状況」については、「自分自身が経験した」か「周囲の人が経験した」かにかかわらず、回答として報告された件数をそのまま表示した（以下の設問も同様）。よって複数人が同一の事件について「周囲の人が経験した」と重複回答している可能性もあり、純粋に学内で発生している差別・ハラスメントの総数を示すものではない。

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	160	122	720
%（n=1013）	15.8%	12.0%	71.1%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	19	2	8	15	1	2	7	54
	%	4.8%	0.5%	2.0%	3.8%	0.3%	0.5%	1.8%	13.7%
学生から	度数	7	2	141	114	5	19	14	302
	%	1.8%	0.5%	35.7%	28.9%	1.3%	4.8%	3.5%	76.5%
職員から	度数	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
その他から	度数	0	0	17	12	1	1	8	39
	%	0.0%	0.0%	4.3%	3.0%	0.3%	0.3%	2.0%	9.9%
合計	度数	26	4	166	141	7	22	29	395
	%	6.6%	1.0%	42.0%	35.7%	1.8%	5.6%	7.3%	100.0%

問 5-1-3. のぞまないのにしつこく食事やデートにさそわれた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	47	92	847
%（n=1013）	4.6%	9.1%	83.6%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	1	1	2	3	0	1	5	13
	%	0.6%	0.6%	1.3%	1.9%	0.0%	0.6%	3.1%	8.2%
学生から	度数	0	0	42	13	3	35	35	128
	%	0.0%	0.0%	26.4%	8.2%	1.9%	22.0%	22.0%	80.5%
職員から	度数	0	0	1	0	1	0	1	3
	%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%	1.9%
その他から	度数	0	1	3	1	0	5	5	15
	%	0.0%	0.6%	1.9%	0.6%	0.0%	3.1%	3.1%	9.4%
合計	度数	1	2	48	17	4	41	46	159
	%	0.6%	1.3%	30.2%	10.7%	2.5%	25.8%	28.9%	100.0%

問 5-1-4. のぞまないのに性的な関係をもとめられた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	9	24	945
%（n=1013）	0.9%	2.4%	93.3%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	1	1	0	1	0	2	1	6
	%	2.9%	2.9%	0.0%	2.9%	0.0%	5.7%	2.9%	17.1%
学生から	度数	0	0	6	7	0	3	11	27
	%	0.0%	0.0%	17.1%	20.0%	0.0%	8.6%	31.4%	77.1%
職員から	度数	0	1	0	0	0	0	0	1
	%	0.0%	2.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%
その他から	度数	0	0	0	0	0	0	1	1
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.9%	2.9%
合計	度数	1	2	6	8	0	5	13	35
	%	2.9%	5.7%	17.1%	22.9%	0.0%	14.3%	37.1%	100.0%

問 5-1-5. 不快な性的冗談を言われたり聞かされたりした

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	102	109	802
%（n=1013）	10.1%	10.8%	79.2%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	7	0	3	8	0	0	5	23
	%	2.7%	0.0%	1.2%	3.1%	0.0%	0.0%	1.9%	8.9%
学生から	度数	6	4	74	72	5	27	28	216
	%	2.3%	1.6%	28.8%	28.0%	1.9%	10.5%	10.9%	84.0%
職員から	度数	1	0	1	2	0	1	1	6
	%	0.4%	0.0%	0.4%	0.8%	0.0%	0.4%	0.4%	2.3%
その他から	度数	0	0	4	4	0	1	3	12
	%	0.0%	0.0%	1.6%	1.6%	0.0%	0.4%	1.2%	4.7%
合計	度数	14	4	82	86	5	29	37	257
	%	5.4%	1.6%	31.9%	33.5%	1.9%	11.3%	14.4%	100.0%

問 5-1-6. 必要もないのに個人的な性体験を尋ねられたり聞かされたりした

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	95	51	860
%（n=1013）	9.4%	5.0%	84.9%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	2	0	0	6	0	0	2	10
	%	1.2%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	0.0%	1.2%	6.0%
学生から	度数	1	0	43	68	2	11	19	144
	%	0.6%	0.0%	25.7%	40.7%	1.2%	6.6%	11.4%	86.2%
職員から	度数	1	0	0	1	0	1	1	4
	%	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	0.6%	0.6%	2.4%
その他から	度数	0	0	0	5	0	0	4	9
	%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	0.0%	0.0%	2.4%	5.4%
合計	度数	4	0	43	80	2	12	26	167
	%	2.4%	0.0%	25.7%	47.9%	1.2%	7.2%	15.6%	100.0%

問 5-1-7．必要もないのに身体をさわられた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	46	34	906
%（n=1013）	4.5%	3.4%	89.4%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	0	0	2	3	1	0	2	8
	%	0.0%	0.0%	2.2%	3.4%	1.1%	0.0%	2.2%	9.0%
学生から	度数	0	0	25	30	0	0	17	72
	%	0.0%	0.0%	28.1%	33.7%	0.0%	0.0%	19.1%	80.9%
職員から	度数	1	0	1	0	0	0	0	2
	%	1.1%	0.0%	1.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.2%
その他から	度数	0	0	2	3	0	0	2	7
	%	0.0%	0.0%	2.2%	3.4%	0.0%	0.0%	2.2%	7.9%
合計	度数	1	0	30	36	1	0	21	89
	%	1.1%	0.0%	33.7%	40.4%	1.1%	0.0%	23.6%	100.0%

問 5-1-8．性暴力の被害にあった

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	3	13	962
%（n=1013）	0.3%	1.3%	95.0%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	0	1	0	0	0	0	0	1
	%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
学生から	度数	0	0	7	3	0	0	1	11
	%	0.0%	0.0%	46.7%	20.0%	0.0%	0.0%	6.7%	73.3%
職員から	度数	0	0	0	1	0	0	0	1
	%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%
その他から	度数	0	0	0	0	0	0	2	2
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	13.3%	13.3%
合計	度数	0	1	7	4	0	0	3	15
	%	0.0%	6.7%	46.7%	26.7%	0.0%	0.0%	20.0%	100.0%

問 5-1-9．性別を理由に発言や発表の機会をあたえられなかった

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	7	13	960
%（n=1013）	0.7%	1.3%	94.8%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	4	1	2	0	0	0	0	7
	%	19.0%	4.8%	9.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
学生から	度数	3	1	2	3	1	0	2	12
	%	14.3%	4.8%	9.5%	14.3%	4.8%	0.0%	9.5%	57.1%
職員から	度数	0	0	0	1	0	0	1	2
	%	0.0%	0.0%	0.0%	4.8%	0.0%	0.0%	4.8%	9.5%
その他から	度数	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	度数	7	2	4	4	1	0	3	21
	%	33.3%	9.5%	19.0%	19.0%	4.8%	0.0%	14.3%	100.0%

問 5-1-10．性別を理由にきちんとした指導を受けられなかった

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	3	8	965
%（n=1013）	0.3%	0.8%	95.3%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	6	3	2	2	1	1	2	17
	%	12.8%	6.4%	4.3%	4.3%	2.1%	2.1%	4.3%	36.2%
学生から	度数	2	2	3	2	1	1	2	13
	%	4.3%	4.3%	6.4%	4.3%	2.1%	2.1%	4.3%	27.7%
職員から	度数	1	1	2	1	1	1	2	9
	%	2.1%	2.1%	4.3%	2.1%	2.1%	2.1%	4.3%	19.1%
その他から	度数	1	1	2	1	1	1	1	8
	%	2.1%	2.1%	4.3%	2.1%	2.1%	2.1%	2.1%	17.0%
合計	度数	10	7	9	6	4	4	7	47
	%	21.3%	14.9%	19.1%	12.8%	8.5%	8.5%	14.9%	100.0%

問 5-1-11．性別を理由に正当な評価を受けられなかった

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	7	17	954
%（n=1013）	0.7%	1.7%	94.2%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	9	1	1	0	0	1	0	12
	%	32.1%	3.6%	3.6%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	42.9%
学生から	度数	1	0	4	3	0	1	1	10
	%	3.6%	0.0%	14.3%	10.7%	0.0%	3.6%	3.6%	35.7%
職員から	度数	1	0	2	0	0	1	0	4
	%	3.6%	0.0%	7.1%	0.0%	0.0%	3.6%	0.0%	14.3%
その他から	度数	0	0	0	0	0	1	1	2
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.6%	3.6%	7.1%
合計	度数	11	1	7	3	0	4	2	28
	%	39.3%	3.6%	25.0%	10.7%	0.0%	14.3%	7.1%	100.0%

問 5-1-12．のぞまないのに性的指向を尋ねられたり言わされたりした

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	29	25	931
%（n=1013）	2.9%	2.5%	91.9%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	2	1	0	4	0	1	1	9
	%	2.7%	1.4%	0.0%	5.5%	0.0%	1.4%	1.4%	12.3%
学生から	度数	0	0	18	25	1	3	11	58
	%	0.0%	0.0%	24.7%	34.2%	1.4%	4.1%	15.1%	79.5%
職員から	度数	0	0	0	1	1	1	0	3
	%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	1.4%	1.4%	0.0%	4.1%
その他から	度数	0	0	1	2	0	0	0	3
	%	0.0%	0.0%	1.4%	2.7%	0.0%	0.0%	0.0%	4.1%
合計	度数	2	1	19	32	2	5	12	73
	%	2.7%	1.4%	26.0%	43.8%	2.7%	6.8%	16.4%	100.0%

問 5-1-13. 性的指向や性自認を理由に差別的発言をされた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	11	32	939
%（n=1013）	1.1%	3.2%	92.7%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	4	0	0	4	0	1	2	11
	%	6.1%	0.0%	0.0%	6.1%	0.0%	1.5%	3.0%	16.7%
学生から	度数	3	0	9	12	1	13	11	49
	%	4.5%	0.0%	13.6%	18.2%	1.5%	19.7%	16.7%	74.2%
職員から	度数	0	0	1	0	0	1	2	4
	%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	0.0%	1.5%	3.0%	6.1%
その他から	度数	0	0	0	1	0	1	0	2
	%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	1.4%	0.0%	2.7%
合計	度数	7	0	10	17	1	16	15	66
	%	10.6%	0.0%	15.2%	25.8%	1.5%	24.2%	22.7%	100.0%

問 5-1-14. 性的指向や性自認を理由に身体的暴力をふるわれた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	2	3	972
%（n=1013）	0.2%	0.3%	96.0%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	0	0	0	0	1	0	0	1
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	20.0%
学生から	度数	1	0	1	0	0	0	1	3
	%	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	60.0%
職員から	度数	0	0	0	1	0	0	0	1
	%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%
その他から	度数	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	度数	1	0	1	1	1	0	1	5
	%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	100.0%

問 5-1-15. 性的指向や性自認を理由に学生団体やサークルなどの課外活動への参加をことわられた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	0	6	937
%（n=1013）	0.0%	0.6%	92.5%

問 5-1-16. 性的指向や性自認を理由に学内行事や企画に参加できなかった

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	0	10	934
%（n=1013）	0.0%	1.0%	92.2%

問 5-1-17. 性的指向や性自認を理由に授業への参加（聴講、見学、履修など）をことわられた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	1	2	940
%（n=1013）	0.1%	0.2%	92.8%

問 5-1-18. 性的指向や性自認を理由に大学事務窓口で不当な扱いをうけた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	1	5	939
%（n=1013）	0.1%	0.5%	92.7%

問 5-1-19. 自分の性自認に対応した学内施設や制度を利用できなくて困った

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	1	6	937
%	0.1%	0.6%	92.5%

問 5-2-1. 外国にルーツがあることを理由に避けられたり無視されたりした

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	27	54	903
%（n=1013）	2.7%	5.3%	89.1%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	7	2	0	2	1	0	5	17
	%	6.3%	1.8%	0.0%	1.8%	0.9%	0.0%	4.5%	15.2%
学生から	度数	17	0	22	11	3	10	18	81
	%	15.2%	0.0%	19.6%	9.8%	2.7%	8.9%	16.1%	72.3%
職員から	度数	0	0	1	0	2	1	4	8
	%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	1.8%	0.9%	3.6%	7.1%
その他から	度数	0	0	1	0	0	1	4	6
	%	0.0%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	3.6%	5.4%
合計	度数	24	2	24	13	6	12	31	112
	%	21.4%	1.8%	21.4%	11.6%	5.4%	10.7%	27.7%	100.0%

問 5-2-2. 外国にルーツがあることを理由に敵意を向けられた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	21	67	889
%（n=1013）	2.1%	6.6%	87.8%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	10	0	1	1	0	0	3	15
	%	9.2%	0.0%	0.9%	0.9%	0.0%	0.0%	2.8%	13.8%
学生から	度数	16	0	14	10	2	17	16	75
	%	14.7%	0.0%	12.8%	9.2%	1.8%	15.6%	14.7%	68.8%
職員から	度数	1	0	1	0	0	1	2	5
	%	0.9%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	0.9%	1.8%	4.6%
その他から	度数	1	0	1	0	0	5	7	14
	%	0.9%	0.0%	0.9%	0.0%	0.0%	4.6%	6.4%	12.8%
合計	度数	28	0	17	11	2	23	28	109
	%	25.7%	0.0%	15.6%	10.1%	1.8%	21.1%	25.7%	100.0%

問 5-2-3. 外国にルーツがあることを理由に特定の面で劣っているとみなされた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	25	33	915
%（n=1013）	2.5%	3.3%	90.3%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	7	2	1	2	1	2	1	16
	%	7.8%	2.2%	1.1%	2.2%	1.1%	2.2%	1.1%	17.8%
学生から	度数	9	1	13	13	4	11	11	62
	%	10.0%	1.1%	14.4%	14.4%	4.4%	12.2%	12.2%	68.9%
職員から	度数	0	0	0	0	1	1	3	5
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	1.1%	3.3%	5.6%
その他から	度数	0	0	0	1	0	2	4	7
	%	0.0%	0.0%	0.0%	1.1%	0.0%	2.2%	4.4%	7.8%
合計	度数	16	3	14	16	6	16	19	90
	%	17.8%	3.3%	15.6%	17.8%	6.7%	17.8%	21.1%	100.0%

問 5-2-4. 日本語の発音やイントネーション、用法などをからかわれた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	23	70	878
%（n=1013）	2.3%	6.9%	86.7%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	3	0	2	1	0	1	0	7
	%	2.4%	0.0%	1.6%	0.8%	0.0%	0.8%	0.0%	5.5%
学生から	度数	22	2	34	27	3	5	20	113
	%	17.3%	1.6%	26.8%	21.3%	2.4%	3.9%	15.7%	89.0%
職員から	度数	0	1	0	0	0	0	3	4
	%	0.0%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.4%	3.1%
その他から	度数	0	0	0	0	0	1	2	3
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.8%	1.6%	2.4%
合計	度数	25	3	36	28	3	7	25	127
	%	19.7%	2.4%	28.3%	22.0%	2.4%	5.5%	19.7%	100.0%

問 5-2-5.「あなたは〇〇人だから～～」など、自分を個人としてではなく 出身国や地域との関連で判断された

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	73	95	821
%（n=1013）	7.2%	9.4%	81.0%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	28	3	3	6	1	1	1	43
	%	11.8%	1.3%	1.3%	2.5%	0.4%	0.4%	0.4%	18.1%
学生から	度数	32	3	46	40	4	18	28	171
	%	13.4%	1.3%	19.3%	16.8%	1.7%	7.6%	11.8%	71.8%
職員から	度数	1	0	0	1	0	1	6	9
	%	0.4%	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.4%	2.5%	3.8%
その他から	度数	0	0	5	0	0	2	8	15
	%	0.0%	0.0%	2.1%	0.0%	0.0%	0.8%	3.4%	6.3%
合計	度数	61	6	54	47	5	22	43	238
	%	25.6%	2.5%	22.7%	19.7%	2.1%	9.2%	18.1%	100.0%

問 5-2-6. 外国にルーツがあることを理由に差別用語をあびせられた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	15	45	913
%（n=1013）	1.5%	4.4%	90.1%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	5	0	2	1	0	0	0	8
	%	7.1%	0.0%	2.9%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	11.4%
学生から	度数	8	1	7	12	2	10	7	47
	%	11.4%	1.4%	10.0%	17.1%	2.9%	14.3%	10.0%	67.1%
職員から	度数	0	0	0	0	0	1	3	4
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%	4.3%	5.7%
その他から	度数	0	0	1	0	0	4	6	11
	%	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	5.7%	8.6%	15.7%
合計	度数	13	1	10	13	2	15	16	70
	%	18.6%	1.4%	14.3%	18.6%	2.9%	21.4%	22.9%	100.0%

問 5-2-7. 外国にルーツがあることを理由に身体的暴力をふるわれた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	1	10	960
%（n=1013）	0.1%	1.0%	94.8%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	0	0	0	0	0	1	0	1
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	10.0%
学生から	度数	0	0	4	3	1	0	0	8
	%	0.0%	0.0%	40.0%	30.0%	10.0%	0.0%	0.0%	80.0%
職員から	度数	0	1	0	0	0	0	0	1
	%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%
その他から	度数	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	度数	0	1	4	3	1	1	0	10
	%	0.0%	10.0%	40.0%	30.0%	10.0%	10.0%	0.0%	100.0%

問 5-2-8. 外国にルーツがあることを理由に発言や発表の機会をあたえられなかった

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	3	4	964
%（n=1013）	0.3%	0.4%	95.2%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	4	0	0	1	1	0	0	6
	%	30.8%	0.0%	0.0%	7.7%	7.7%	0.0%	0.0%	46.2%
学生から	度数	1	0	2	1	0	0	1	5
	%	7.7%	0.0%	15.4%	7.7%	0.0%	0.0%	7.7%	38.5%
職員から	度数	0	0	0	0	1	0	1	2
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	7.7%	0.0%	7.7%	15.4%
その他から	度数	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	度数	5	0	2	2	2	0	2	13
	%	38.5%	0.0%	15.4%	15.4%	15.4%	0.0%	15.4%	100.0%

問 5-2-9. 外国にルーツがあることを理由にきちんとした指導を受けられ なかった

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	1	9	960
%（n=1013）	0.1%	0.9%	94.8%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	4	2	0	0	1	0	1	8
	%	26.7%	13.3%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	6.7%	53.3%
学生から	度数	0	1	3	1	0	0	0	5
	%	0.0%	6.7%	20.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%
職員から	度数	0	0	1	0	0	0	1	2
	%	0.0%	0.0%	6.7%	0.0%	0.0%	0.0%	6.7%	13.3%
その他から	度数	0	0	0	0	0	0	0	0
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
合計	度数	4	3	4	1	1	0	2	15
	%	26.7%	20.0%	26.7%	6.7%	6.7%	0.0%	13.3%	100.0%

問 5-2-10. 外国にルーツがあることを理由に正当な評価を受けられなかった

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	4	19	946
%（n=1013）	0.4%	1.9%	93.4%

		ゼミや講義などの授業中	教員の研究室での指導中	学生団体やサークル活動中	飲み会中	学生の研究室での作業中	SNS上	その他	合計
教員から	度数	9	2	0	1	2	0	1	15
	%	30.0%	6.7%	0.0%	3.3%	6.7%	0.0%	3.3%	50.0%
学生から	度数	2	0	3	2	1	3	1	12
	%	6.7%	0.0%	10.0%	6.7%	3.3%	10.0%	3.3%	40.0%
職員から	度数	1	0	0	0	0	0	1	2
	%	3.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	6.7%
その他から	度数	0	0	0	0	0	0	1	1
	%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	3.3%
合計	度数	12	2	3	3	3	3	4	30
	%	40.0%	6.7%	10.0%	10.0%	10.0%	10.0%	13.3%	100.0%

問 5-2-11. 外国にルーツがあることを理由に学生団体やサークルなどの課外活動への参加をことわられた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	6	16	923
%（n=1013）	0.6%	1.6%	91.1%

問 5-2-12. 外国にルーツがあることを理由に学内行事や企画に参加できなかった

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	2	9	934
%（n=1013）	0.2%	0.9%	92.2%

問 5-2-13. 外国にルーツがあることを理由に授業への参加（聴講、見学、履修など）をことわられた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	1	4	945
%（n=1013）	0.1%	0.4%	93.3%

問 5-2-14. 外国にルーツがあることを理由に大学の事務窓口で不当な扱いをうけた

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	2	6	942
%（n=1013）	0.2%	0.6%	93.0%

問 5-2-15. 自分の宗教に対応した学内施設や制度が利用できなくて困った

	自分が経験した	周囲の人が経験した	知らない
度数	3	9	937
%（n=1013）	0.3%	0.9%	92.5%

問 6-3 問 6-2 で「6. 学生相談室やハラスメント相談室を利用した」を選択した方にお聞きします。そのことによって 問題は改善しましたか。

	どちらかといえばそう思う	どちらかといえばそう思わない	そう思わない	合計
度数	3	1	7	11
%	27.3%	9.1%	63.6%	100.0%

問 6-5 問 6-2 で「7. 学校になんらかの対処をもとめた」を選択した方にお聞きします。そのことによって問題は改善しましたか。

	そう思う	そう思わない	合計
度数	1	3	4
%	25.0%	75.0%	100.0%

ジェンダー、性に関する被差別・ハラスメント経験の有無（問 5-1 で少なくともひとつ「イ. 自分自身が経験した」に回答した者の数をカウント）

	ある	ない
度数	366	647
%（n=1013）	36.1%	63.9%

人種、エスニシティに関する被差別・ハラスメント経験の有無（問 5-2 で少なくともひとつ「イ. 自分自身が経験した」に回答した者の数をカウント）

	ある	ない
度数	109	904
%（n=1013）	10.8%	89.2%

一橋大学キャンパス内差別実態調査

一橋大学には、多様な学生、教職員が在籍し、ともに学ぶ場を創り上げています。研究・教育の国際化は大学の方針であり、留学生の数は年々増加しております。しかし、残念ながら、キャンパスでは、見えにくい差別が日常的に発生しており、今夏は学園祭をめぐる騒動もありました。

社会学研究科では、こうした事態を受けて、「社会学研究科キャンパス内差別実態調査ワーキング・グループ」を設置し、キャンパス内の差別実態の調査を行うことにいたしました。本調査の目的は、学生並びに院生のみなさんが学校生活で日常的に経験しうる見えにくい差別の実態を把握し、学内の差別防止及び人権擁護にかかわる制度を見直すことにあります。

調査で得られた回答はすべて統計的に処理をしますので、個人を特定できるデータが第三者に知られることはありません。調査結果は本年度中にまとめ、社会学研究科事務室などを通じ学内に公表する予定です。

キャンパス内でおこっている差別の実態を把握することは、今後の対応を考えるうえできわめて重要な作業です。一橋大学が、在籍するすべての人にとって、安心して学問に取り組める場であるために、みなさまのご協力をお願いいたします。

社会学研究科キャンパス内差別実態調査ワーキング・グループ

2017 年 9 月 19 日

ご記入にあたって

1. 選択肢がある質問については、あてはまる番号に〇をつけてください。質問によって、あてはまるもの「１つに」〇をつけるものと、「すべてに」〇をつけるものがあります。
2. 質問によっては、空欄に記号をご記入いただいたり、具体的に記述していただいたりする場合があります。
3. 「問＊で「1. ×××」を選択した方にお聞きします」などの指示がある場合は、それにしたがってお答えください。
4. 設問は全部で 6 問で、回答にかかる時間は 15～20 分程度です。

■はじめに、あなたご自身についてうかがいます。

問１　あなたの性別・現在の所属・学年を教えてください。

【性別】

【所属】

1. 商学部	7. 法学研究科
2. 経済学部	8. 法科大学院
3. 法学部	9. 社会学研究科
4. 社会学部	10. 言語社会研究科
5. 商学研究科	11. 国際・公共政策専門職大学院
6. 経済学研究科	

【学年】

学部 ・ 修士 ・ 博士 ・ その他		年生	留学生の方は右の欄に〇を記入してください	

問 2-1　あなたの国籍について教えてください。

問 2-2　あなたのルーツ（出自のある国・地域）について、あてはまるものすべてに〇をつけてください。

1. 日本	9. フランス
2. 中国	10. ドイツ
3. 朝鮮半島	11. オーストラリア
4. 台湾	12. ブラジル
5. ベトナム	13. ペルー
6. タイ	14. フィリピン
7. モンゴル	15. インドネシア
8. アメリカ合衆国	16. そのほか（　　）

問 3　あなたは日本語でどれくらい会話ができますか。自身の日本語会話力を 5 段階で評価し、あてはまる箇所に〇をつけてください。

1. まったくできない	4. 幅広い話題やニュースについて議論できる
2. ゆっくり短い会話ができる	5. 母語同様に話せる
3. 日常会話に不自由しない	6. 日本語が母語である

問 4-a 留学生以外の方にお聞きします。あなたは外国人留学生とどれくらいの付き合いがありますか。場面ごとに 5 段階で評価し、あてはまる番号に〇をつけてください。

	まったくない	ほとんどない	月に 1, 2 回程度	週に 1, 2 回程度	ほぼ毎日
授業で	1	2	3	4	5
授業以外の学校生活で	1	2	3	4	5
学外で	1	2	3	4	5

問 4-b 留学生の方にお聞きします。あなたは日本人学生とどれくらいの付き合いがありますか。場面ごとに 5 段階で評価し、あてはまる番号に〇をつけてください。

	まったくない	ほとんどない	月に 1,2 回程度	週に 1,2 回程度	ほぼ毎日
授業で	1	2	3	4	5
授業以外の学校生活で	1	2	3	4	5
学外で	1	2	3	4	5

■次に、大学生活におけるあなたの経験についてうかがいます。

問 5-1 あなたはこれまでの学生生活で以下のような経験を自分自身がしたか、あるいは周囲の人がしたのを知っていますか。また、それはだれからどのような状況でおこなわれましたか。状況についてはページ下部の【記号群】A～G を参照しながら、あてはまる記号すべてに〇をつけてください。

		イ. 自分が経験した	ロ. 周囲の人が経験した	ハ. 知らない
1. 固定的な性役割意識に基づいた発言をうけた（「男なら～」、「女らしく～」、「男にしては～」、「女だから～」など）		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
2. 固定的な性役割意識に基づいたふるまいを求められた（「飲み会でビールを注ぐことを求められる」「力仕事を求められる」など）		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	

		イ．自分が経験した	ロ．周囲の人が経験した	ハ．知らない
3. のぞまないのにしつこく食事やデートにさそわれた		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
4. のぞまないのに性的な関係をもとめられた		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
5. 不快な性的冗談を言われたり聞かされたりした		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
6. 必要もないのに個人的な性体験を尋ねられたり聞かされたりした		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
7. 必要もないのに身体をさわられた		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	

8. 性暴力の被害にあった		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
9. 性別を理由に発言や発表の機会をあたえられなかった		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
10. 性別を理由にきちんとした指導を受けられなかった		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
11. 性別を理由に正当な評価を受けられなかった		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
12. のぞまないのに性的指向を尋ねられたり言わされたりした		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
13. 性的指向や性自認を理由に差別的発言をされた		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	

	イ. 自分が経験した	ロ. 周囲の人が経験した	ハ. 知らない
14. 性的指向や性自認を理由に身体的暴力をふるわれた	イ	ロ	ハ

だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G
	学生から		A B C D E F G
	職員から		A B C D E F G
	そのほか（　　）から		A B C D E F G

15. 性的指向や性自認を理由に学生団体やサークルなどの課外活動への参加をことわられた	イ	ロ	ハ
16. 性的指向や性自認を理由に学内行事や企画に参加できなかった	イ	ロ	ハ
17. 性的指向や性自認を理由に授業への参加（聴講、見学、履修など）をことわられた	イ	ロ	ハ
18. 性的指向や性自認を理由に大学事務窓口で不当な扱いをうけた	イ	ロ	ハ
19. 自分の性自認に対応した学内施設や制度を利用できなくて困った	イ	ロ	ハ

補足 そのほか、上の設問に記載されていない設定のもとで、学内で自分や周囲の人が差別と思われる経験をしたという方は、具体的な状況とともに下欄に記述してください。また、上記回答した事例について、補足することがある場合は同様に下欄に記してください。

自由記述欄

問 5-2　（※すべての方がお答えください）あなたはこれまでの学生生活で以下のような経験を自分自身がしたか、あるいは周囲の人がしたのを知っていますか。前の設問と同じく、該当する事例については【記号群】A～G のなかからあてはまる記号すべてに○をつけてください。

		イ. 自分が経験した	ロ. 周囲の人が経験した	ハ. 知らない
1. 外国にルーツがあることを理由に避けられたり無視されたりした		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
2. 外国にルーツがあることを理由に敵意を向けられた		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
3. 外国にルーツがあることを理由に特定の面で劣っているとみなされた		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
4. 日本語の発音やイントネーション、用法などをからかわれた		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	

		イ．自分が経験した	ロ．周囲の人が経験した	ハ．知らない
5.「あなたは〇〇人だから～～」など、自分を個人としてではなく出身国や地域との関連で判断された		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
6. 外国にルーツがあることを理由に差別用語をあびせられた		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
7. 外国にルーツがあることを理由に身体的暴力をふるわれた		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
8. 外国にルーツがあることを理由に発言や発表の機会をあたえられなかった		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	
9. 外国にルーツがあることを理由にきちんとした指導を受けられなかった		イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G	
	学生から		A B C D E F G	
	職員から		A B C D E F G	
	そのほか（　　）から		A B C D E F G	

10. 外国にルーツがあることを理由に正当な評価を受けられなかった			イ	ロ	ハ
だれから	教員から	どのような状況で	A B C D E F G		
	学生から		A B C D E F G		
	職員から		A B C D E F G		
	そのほか（　　）から		A B C D E F G		
11. 外国にルーツがあることを理由に学生団体やサークルなどの課外活動への参加をことわられた			イ	ロ	ハ
12. 外国にルーツがあることを理由に学内行事や企画に参加できなかった			イ	ロ	ハ
13. 外国にルーツがあることを理由に授業への参加（聴講、見学、履修など）をことわられた			イ	ロ	ハ
14. 外国にルーツがあることを理由に大学の事務窓口で不当な扱いをうけた			イ	ロ	ハ
15. 自分の宗教に対応した学内施設や制度が利用できなくて困った			イ	ロ	ハ

補足 問 5-1 同様、上の設問に記載されていない設定のもとで、学内で自分や周囲の人が差別と思われる経験をしたという方は、具体的な状況とともに下欄に記述してください。また、上記回答した事例について、補足することがある場合は同様に下欄に記してください。

自由記述欄

■以下の設問は、**問 5-1、5-2** において1つでも「イ．自分が経験した」を選択した方にお聞きします。それ以外の方は、ここで回答を終えてください。

問 6-1　問 5-1、5-2 の設問にあるような経験をしたことで、あなたにどのような影響がありましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、必要な場合は自由記述欄を用いてください。

1. 日々の勉強や研究活動に支障がでた 2. 心や身体の健康を損なった 3. 学生団体やサークルなどの課外活動に支障がでた 4. 大学を辞めることを考えた	5. 学校に来づらくなったり来られなくなったりした 6. 授業に参加しづらくなったり参加できなくなったりした 7. そのほか（　　）

自由記述欄

問 6-2　問 5-1、5-2 の設問にあるような経験をしたとき、あなたはどのように対処しましたか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、必要な場合は自由記述欄を用いてください。

1. 友人に相談した 2. 教員に相談した 3. ゼミや講義など参加する授業を変更した 4. 指導教員を変更した 5. 学生団体やサークルなどの課外活動を辞めた	6. 学生相談室やハラスメント相談室を利用した 7. 学校になんらかの対処をもとめた 8. 学外の相談施設・機関を利用した 9. なにもしなかった（できなかった） 10. そのほか（　　）

自由記述欄

問 6-3　問 6-1 で「6. 学生相談室やハラスメント相談室を利用した」を選択した方にお聞きします。そのことによって問題は改善しましたか。

1. そう思う 2. どちらかいえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない

問 6-4　問 6-1 で「6. 学生相談室やハラスメント相談室を利用した」を選択しなかった方にお聞きします。それはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、必要な場合は自由記述欄を用いてください。

1. 相談室の対応が信頼できなかったから 2. 周囲の人との人間関係が悪くなるのをおそれたから 3. 成績の評価に影響することをおそれたから 4. 教員から指導を受けられなくなることをおそれたから 5. 奨学金をもらえなくなることをおそれたから	6. 特定の人からの報復をおそれたから 7. 解決しないとおもったから 8. 留学資格をはく奪されることをおそれたから 9. 寮にいられなくなることをおそれたから 10. そのほか（　　）

自由記述欄

問 6-5　問 6-1 で「7. 学校になんらかの対処をもとめた」を選択した方にお聞きします。そのことによって問題は改善しましたか。

1. そう思う 2. どちらかいえばそう思う	3. どちらかといえばそう思わない 4. そう思わない

問 6-6　問 6-1 で「7. 学校になんらかの対処をもとめた」を選択しなかった方にお聞きします。それはなぜですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。また、必要な場合は自由記述欄を用いてください。

1. 学校の対応が信頼できなかったから 2. 周囲の人との人間関係が悪くなるのをおそれたから 3. 成績評価に影響することをおそれたから 4. 教員から指導を受けられなくなることをおそれたから 5. 奨学金をもらえなくなることをおそれたから	6. 特定の人からの報復をおそれたから 7. 解決しないとおもったから 8. 留学資格をはく奪されることをおそれたから 9. 寮にいられなくなることをおそれたから 10. そのほか（　　）

自由記述欄

■設問はこれでおわりです。ご協力ありがとうございました。調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

社会学研究科キャンパス内差別実態調査ワーキング・グループ
research.wg@soc.hit-u.ac.jp